

# 第50回日本鼻科学会総会 ならびに学術講演会

第47回鼻科学基礎問題研究会  
第40回鼻科学臨床問題懇話会

会期：平成23年12月1日(木), 2日(金), 3日(土)

会場：岡山コンベンションセンター

会長：西崎和則

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科耳鼻咽喉・頭頸部外科学

# ごあいさつ

## 第50回日本鼻科学会

会長 西崎和則

第50回日本鼻科学会総会・学術講演会を岡山大学耳鼻咽喉・頭頸部外科学教室で開催させていただくことを大変光栄に存じます。この機会をお与えいただきました竹中 洋理事長をはじめ役員、顧問、評議員の皆様、また会員の諸先生に心から感謝申し上げます。当教室での担当は初めてとなりますが、皆さまにご満足いただけるように教室員一同で最善をつくし準備を進めております。

今回の学会は第50回の記念大会となります。学会創立50周年記念事業として、記念式典および学会創立50周年メモリアルホールの設置を行います。メモリアルホールでは、鼻副鼻腔研究会などの前身を含むこれまで49回におよぶ日本鼻科学会総会・学術講演会を回顧する鼻科学にまつわる機器や書籍などを展覧いたします。貴重な資料をご提供いただいたこれまでの担当教室のご協力に深謝申し上げます。

学会1日目の12月1日には、第47回鼻科学基礎問題研究会「慢性鼻・副鼻腔炎症の難治化因子とその制御」を司会：市村恵一教授，黒野祐一教授で行います。上気道慢性炎症の難治化における線溶因子，VEGF，IL-17Aなどの内的因子，あるいは黄色ブドウ球菌外毒素などの外的因子の役割とその制御について検討する予定です。第40回鼻科学臨床問題懇話会は「好酸球性副鼻腔炎の診断および評価基準作成の試み」(司会：森山 寛教授，藤枝重治教授)です。全国疫学調査，一酸化窒素(NO)などの病態，手術や術後療法，あるいは実地診療に基づいた好酸球性副鼻腔炎の診断および評価基準についてのコンセンサスが得られることを期待しております。イブニングシンポジウムは「鼻・副鼻腔疾患に対する抗炎症療法の現状と未来」(司会：岡本美孝教授，氷見徹夫教授)と題し，鼻・副鼻腔疾患に対する抗ヒスタミン薬，抗ロイコトリエン薬，マクロライド薬およびステロイド薬など薬物療法に関して，新しい薬理作用と将来への展望について討議いたします。

12月2日(金曜日，学会第二日)には，理事長記念講演として竹中 洋先生に，また学会創立50周年記念講演として馬場駿吉先生にそれぞれご講演いただく予定です。特別講演は有田 誠先生(東京大学大学院薬学系研究科 衛生化学教室准教授)に，「炎症の収束に関わる脂質メディエーターの代謝と網羅的解析」というタイトルでご講演を賜ります。炎症の制御は鼻科学にとって重要な課題のひとつです。炎症の収束が破綻した状態が慢性疾患や組織損傷といえます。これまで炎症の収束は，単に炎症反応の拡散による減弱化と考えられていましたが，有田先生らの研究により炎症の収束に積極的に関わる分子やシステムが存在することが明らかとなりつつあります。今回はこれらの話題について参加者のご理解を深めるご講演をいただく予定です。シンポジウムIは「鼻アレ

ルギー治療最前線—新規治療法の有用性と限界—」(司会：増山敬祐教授，大久保公裕教授)です。鼻アレルギー治療は進展が著しいですが，なかでも関心が高くまた臨床試験が進められている薬物併用療法，ボツリヌス療法，後鼻神経切断術および舌下免疫療法について，それぞれのエキスパートから最新の情報をご提供いただきます。

12月3日(土曜日，学会三日目)は，パネルディスカッション「鼻腔・副鼻腔腫瘍の切除と再建」(司会：丹生健一教授，木股敬裕教授(岡山大学 形成外科学))を企画しております。頭頸部外科診療の第一線でご活躍の各パネリストから鼻・副鼻腔腫瘍に対する治療方針をご提示いただき，さらにケースディスカッションを行う予定です。シンポジウムⅡは「副鼻腔炎手術—術式と術後評価基準の作成—」(司会：友田幸一教授，春名眞一教授)です。日本鼻科学会のアドホック委員会である副鼻腔炎手術手技機能評価委員会から，手術術式の新しい分類，動画による各術式の説明，および自覚症状や検査(内視鏡所見や嗅覚検査，鼻腔通気度検査など)による術後評価基準について討議する予定です。

次世代へのサイエンスとスキルの啓蒙と継承を目的とした教育セミナーも企画いたしました。原渕保明教授から「鼻科学基礎研究への招待—EBウイルスとの出会い—」(司会：洲崎春海教授)，原田 保教授から「内視鏡下鼻内手術のピットフォール」(司会：平川勝洋教授)，池田勝久教授から「内視鏡下腫瘍摘出—適応と手術手技—」(司会：岡本美孝教授)，児玉 悟先生から「画像から読み取る手術所見」(司会：内藤健晴教授)，小林正佳先生から「嗅覚障害の保存的・手術療法」(司会：阪上雅史教授)，また加瀬康弘教授から「顔面外傷への対応」(司会：清水猛史教授)のご講演を賜ります。

第45回日本鼻科学会より導入された韓国鼻科学会と日本鼻科学会の交流プログラムを充実すべく，今回の学会におきましても特別企画を準備いたしました。特別講演(司会：川内秀之教授)では，Yonsei大学のJoo-Heon Yoon教授に自然免疫を担う中心的な分子であるToll-like receptor (TLR)に関するご講演を，またUlsan大学(Asanメディカルセンター)のYong-Ju Jang教授にライノウイルスに関するご講演をお願いしております。国際セッションでは韓国より4題，台湾より1題のエントリーを頂き，日本からは川内秀之教授と市村恵一教授のご発表を賜ります。

また言うまでもなく，学術講演会の中心は一般演題におけるアップデートな発表と，白熱しつつも品位のある意見交換です。220題を超える演題を戴くことができました。重ねて御礼申し上げます。

今回の学会は，例年よりも少し遅い初冬での開催となりますが，岡山は“晴れの国”です。この時期の岡山には県南の海の幸や県央・県北の山の幸が揃っております。また後樂園，瀬戸内海，倉敷美観地区，伊部地区(備前焼)など観光スポットも皆さまをお待ちしております。

会場の岡山コンベンションセンターは岡山駅から直結徒歩3分の距離にあり，アクセスの良さは自負しております。ぜひとも岡山の地へお揃いでお運び下さいますよう，心よりお願い申し上げます。

## 第50回日本鼻科学会学術講演会のご案内

第50回日本鼻科学会総会・学術講演会を下記により開催いたします。

1. 会期：平成23年12月1日（木），2日（金），3日（土）
2. 会場：岡山コンベンションセンター

〒700-0026 岡山市北区駅元町14番1号

TEL：086-214-1000 FAX：086-214-3600

### 【理事会・代議員会・評議員の集い】

理事会は，12月1日（木）9：00～11：30 ホテルグランヴィア岡山3F サファイアにて行います。

代議員会（総会）は，12月1日（木）11：30～12：45 ホテルグランヴィア岡山4F フェニックスにて行います。

評議員の集いは，12月1日（木）13：20～13：50 岡山コンベンションセンター302会議室にて行います。

### 【創立50周年メモリアルホール】

12月2日（金），3日（土）に岡山コンベンションセンター2F（展示ホール）に設けます。

### 【参加者の皆様へ】

- 1) 参加受付は，岡山コンベンションセンターにて行います。参加費13,000円をお支払いの上，ネームカード兼領収証をお受け取りください。学会期間中，会場内ではネームカードを必ずご携帯ください。会員懇親会費は無料です。
- 2) 参加受付は，1日（木）は午後1時より，2日（金）は午前8時より，3日（土）は午前7時40分より行います。
- 3) 日本耳鼻咽喉科学会認定専門医の方は，「学術集会参加票」とともに「専門医証（IDカード）」を必ずご持参くださいますようお願いいたします。参加受付の際に「学術集会参加票」の提出と「専門医証（IDカード）」のご提示をお願いすることになりました。総合受付にある「専門医証（IDカード）」受付にてお手続きください。
- 4) 医学部学生，研修医（新臨床研修制度による）の参加が認められております。参加は無料です。参加希望の方は，11月18日（金）までに学会事務局（E-mail：bika50@cc.okayama-u.ac.jp）まで，氏名，所属，連絡先を明記の上電子メールにてお申し込みください。尚，当日，会場受付で所属責任者からの証明を確認させていただきます。
- 5) 会場内での呼び出しは，総合受付横の呼び出し用掲示板をご利用ください。
- 6) 演者及び共同演者は，本学会会員に限ります。未入会の方は，入会の手続きをお取りください。尚，学会当日にも総合案内にて新入会受付を行っております。
- 7) 携帯電話はマナーモードにするか，電源を切って会場にお入りください。

【クローク】

クロークは会場内に設置しておりますのでそちらをご利用ください。

【会員懇親会】

12月2日（金）19：00より岡山コンベンションセンターイベントホールにて行います。

懇親会費は無料ですので奮ってご参加ください。尚、当日は必ず学会参加証をご用意ください。

【機械展示】

12月2日（金）、3日（土）に岡山コンベンションセンター 2Fにて行います。

【書籍展示】

12月2日（金）、3日（土）に岡山コンベンションセンター 3Fにて行います。

【ドリンクサービス】

12月2日（金）、3日（土）岡山コンベンションセンター 2F 展示ホールにございます。

【特別プログラム発表者の皆様へ】

基礎問題研究会，臨床問題懇話会，特別講演，記念講演，教育セミナー，モーニングセミナー，ランチョンセミナー，イブニングセミナー，シンポジウム，国際交流プログラム，パネルディスカッションでは，PCでのPowerpointによるプレゼンテーションのみとさせていただきます。

スライドによる発表はできませんのでご注意ください。投影は1面となります。動画をご使用の方はご自身のPCをお持込ください。

【一般演題発表の皆様へ】

口演は，PCでのPower Pointによるプレゼンテーションのみとさせていただきます。会場のPC環境は，OSがWindows（XP，Vista，7）アプリケーションはWindows版Power Point 2003・2007・2010となります。Macintoshをご使用の先生はPC本体をお持込ください。

※動画または音声を含む場合も，PC発表とさせていただきます。ビデオはご使用いただけませんので，ご了承ください。

日本語一般演題，International Sessionともに発表時間7分・討論3分で，投影はいずれも1面です。

PC発表の注意点

発表の際は演台に設置しております操作用キーパッドを使って，演者ご自身により操作をお願いいたします。オペレーターによる操作をご希望の方は会場にて，事前に進行係にお伝えください。また，ご自身のPCを操作されることも可能です。

<PC発表>

- (1) 発表に際してはデータでお預かりの先生はUSBフラッシュメモリー（Windowsのみ）のみです。PC本体をお持込みの先生はWindows・Macintoshどちらでも可能です。動画をご使用の先生，Macをご希望の先生はPC本体をお持込みください。

- (2) 発表の1時間前（8時30分からのセッションは30分前）までにPC受付（3F エントランスホール）にて用意したチェックシートに必要事項をご記入後、専門のPCオペレーター立ち会いのもと動作確認を行ってください。
- (3) 下記ルールに基づいたPC接続の標準環境のみをご用意いたします。表現される画面の不具合については全て演者の責任となりますのでご注意ください。
- (4) PC接続は外部出力端子がD-Sub-15pinです。PCの機種によっては外部出力端子がD-Sub-15pin以外のものがございますので、必ずD-Sub-15pinで接続できるコネクタを各自ご持参ください。
- (5) ご持参されるPCでの外部ディスプレイ出力が可能であることを必ずご確認ください。また、バッテリー切れを防ぐために電源アダプターをご持参ください。
- (6) 必ず発表データ（動画がある場合は動画ファイルを含む）を含んだ予備のメディアを持参してください。
- (7) 当方での予備環境について
  - ① OS: Windows (XP, Vista, 7)
  - ② アプリケーション: Windows 版 Power Point 2003・2007・2010
  - ③ 発表に使用できるデータ  
Windows で作成した Microsoft Power Point のファイルのみとします。画面サイズは XGA (1024×768) になります。Mac 版 Power Point やその他のアプリケーションで作成されたデータは、受付できませんのでご注意ください。Mac 版 Power Point で作成したファイルを Windows 版 Power Point に変換した場合、データが正確に表現できない場合があります。上記環境の PC で全ての画面が不具合なく表現されることをあらかじめご確認の上、完成した形でお持ちください。
  - ④ フォント  
Windows XP (日本語版) に標準搭載されているフォントのみ使用可能です。日本語: MS ゴシック, MSP ゴシック, MS 明朝, MSP 明朝の4種類のみ。英語: Times New Roman, Arial, Arial Black, Arial Narrow, Century, Century Gothic, Courier, Courier New, Georgia の9種類のみ。これ以外のフォントを使用した場合、正確に表現できない場合があります。
  - ⑤ データ容量  
データの容量は、650MB (総量) までとさせていただきます。
  - ⑥ 動画について  
動画を Power Point に埋め込む場合、Windows 版の Media Player で動作する形式をお使いください。これ以外のリアルタイムプレイヤー、クイックタイムプレイヤーなどの動画ソフトは利用できません。動画を使用する場合、リンク切れにご注意ください。メディアにコピーした後、作成した PC 以外での PC で動作確認することにより解決できます。尚、動画ファイルには拡張子を必ず付けてください。音声について PC からの音声再生につきましては一切対応いたしません。
  - ⑦ メディアの持ち込み形式について

USB フラッシュメモリーのための受付とさせていただきます。MO ディスク、スマートメディア、SD カード、メモリースティック、コンパクトフラッシュ等のメディアによる受付はいたしませんのでご注意ください。不測の事態に備えて、必ずバックアップデータをお持ちいただきますようお願い申し上げます。

⑧ データ名の統一について

持ち込まれるメディアには、当日発表されるデータ（完成版）以外のデータを入れないでください。また、データのファイル名には、演題番号（半角）に続けて、発表者の氏名（漢字）を必ず付けてください。

【司会・座長の先生方へ】

- 1) セッション開始30分前までに必ず進行係（各会場右前方）にお声をお掛けください。
- 2) 各セッションの進行は司会・座長の先生方にお任せ致します。定刻通りの進行をお願い致します。

【討論・発言について】

- 1) 多くの会員の活発な討論・発言を歓迎致します。
- 2) 発言される方はあらかじめフロアマイクの前に待機し、司会者の指示に従って氏名・所属を述べた上で簡潔明瞭に行ってください。

【呼び出しについて】

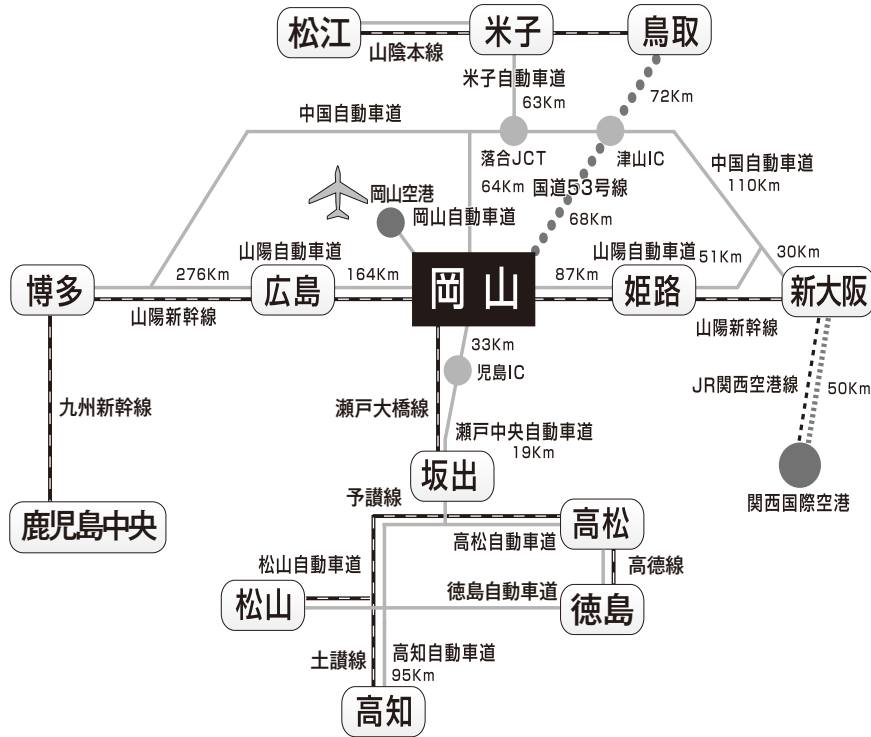
各会場とも緊急事態以外の呼び出しはいたしませんのでご了承ください。  
メッセージボードを用意いたしますのでご利用ください。

【連絡先】

第50回日本鼻科学会事務局  
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科耳鼻咽喉・頭頸部外科学  
〒700-8558 岡山市北区鹿田町 2-5-1  
TEL : 086-235-7307 FAX : 086-235-7308  
E-mail : bika50@cc.okayama-u.ac.jp

# 交通案内図

## アクセス



## 交通アクセス

◇航空機での所要時間

東 京……………約 1 時間 10 分  
 沖 縄……………約 2 時間 10 分

◇関西国際空港からの所要時間

空 港⇨新大阪……約 50 分 (特急)  
 新大阪⇨岡 山……約 45 分 (新幹線)

◇大阪国際空港 (伊丹空港) からの所要時間

空 港⇨新大阪……約 25 分 (空港バス)  
 約 25 分 (モノレール・電車)  
 新大阪⇨岡 山……約 45 分 (新幹線)

◇岡山空港から JR 岡山駅までの所要時間

タクシー 約 25 分……………5,500 円程度  
 空港連絡バス 約 32 分……………740 円

◇新幹線 (のぞみ) での所要時間

東 京……………約 3 時間 20 分  
 名古屋……………約 1 時間 40 分  
 新大阪……………約 45 分  
 広 島……………約 40 分  
 博 多……………約 1 時間 50 分  
 鹿児島中央 (みずほ) ……約 3 時間

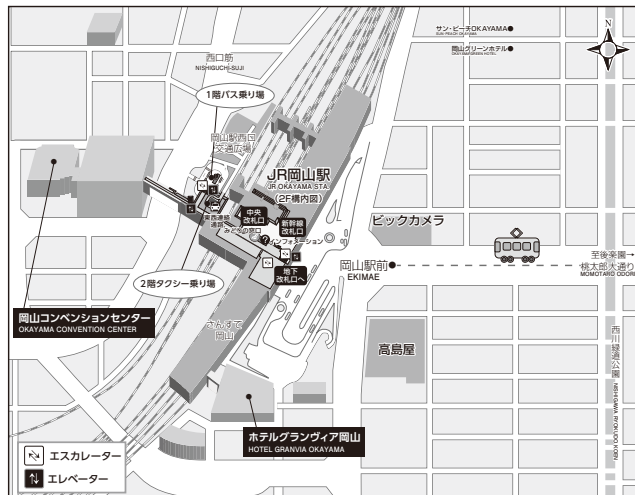
## 会場のご案内

岡山コンベンションセンター

〒 700-0024 岡山市北区駅元町 14-1  
 TEL : 086-214-1000 FAX : 086-214-3600

ホテルグランヴィア岡山

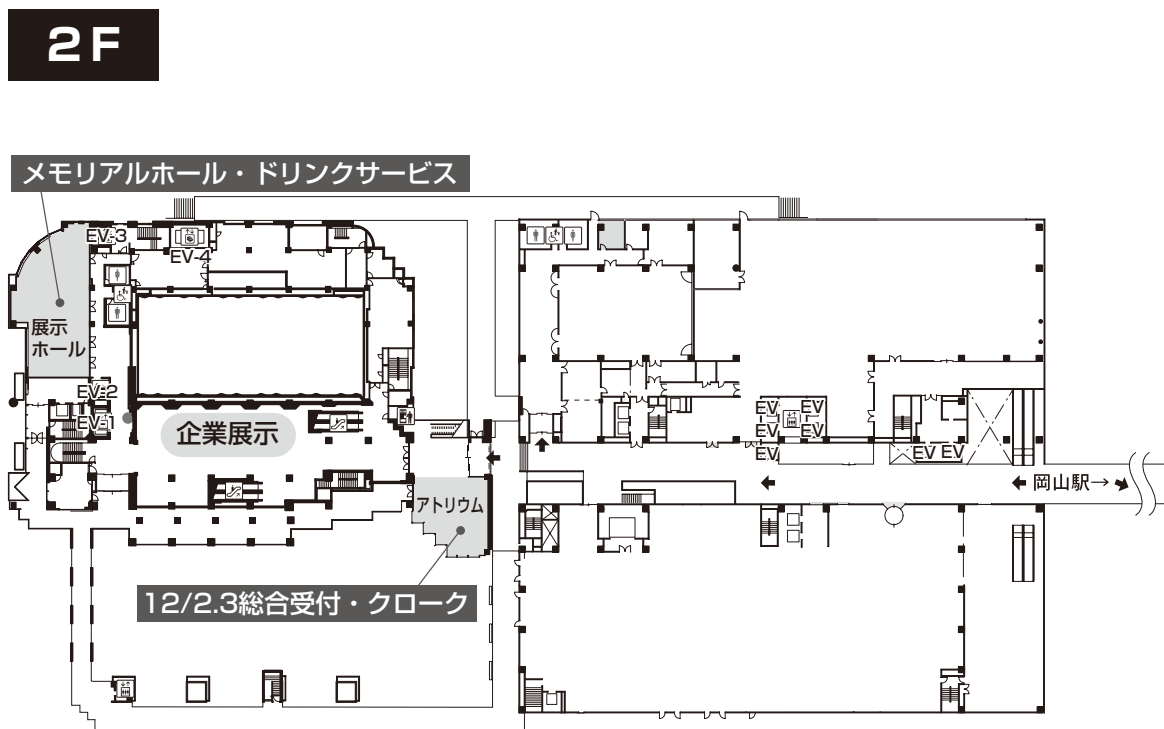
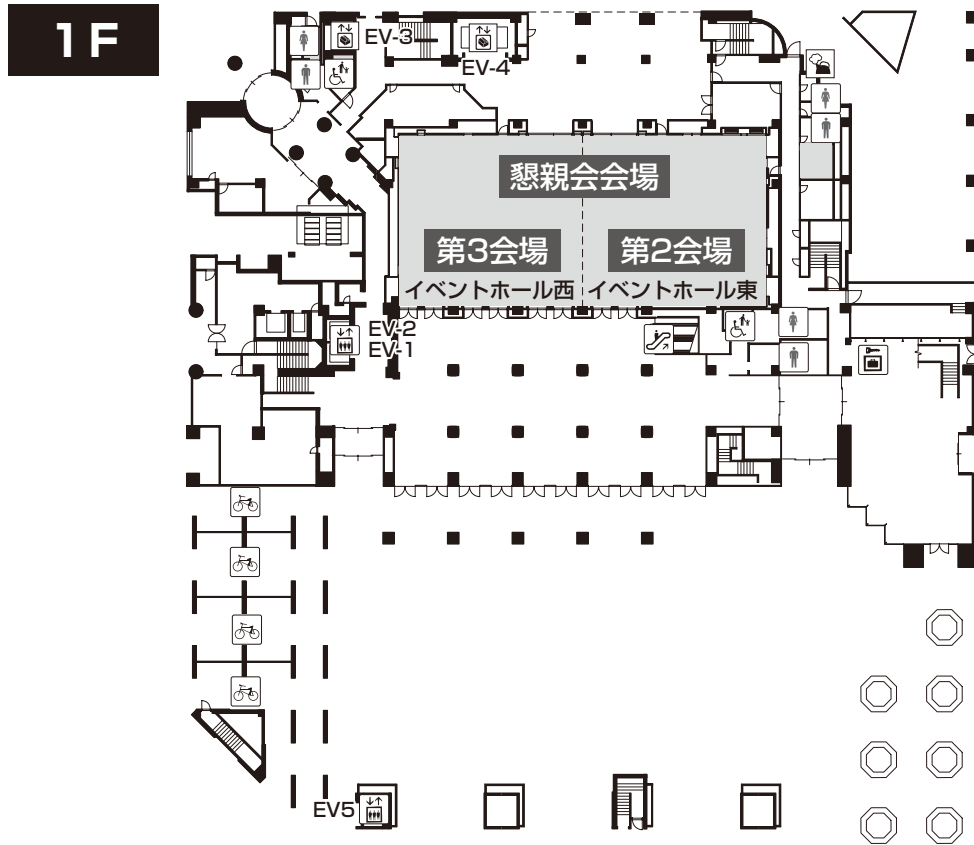
〒 700-8515 岡山市北区駅元町 1-5  
 TEL : 086-234-7000 FAX : 086-234-7099

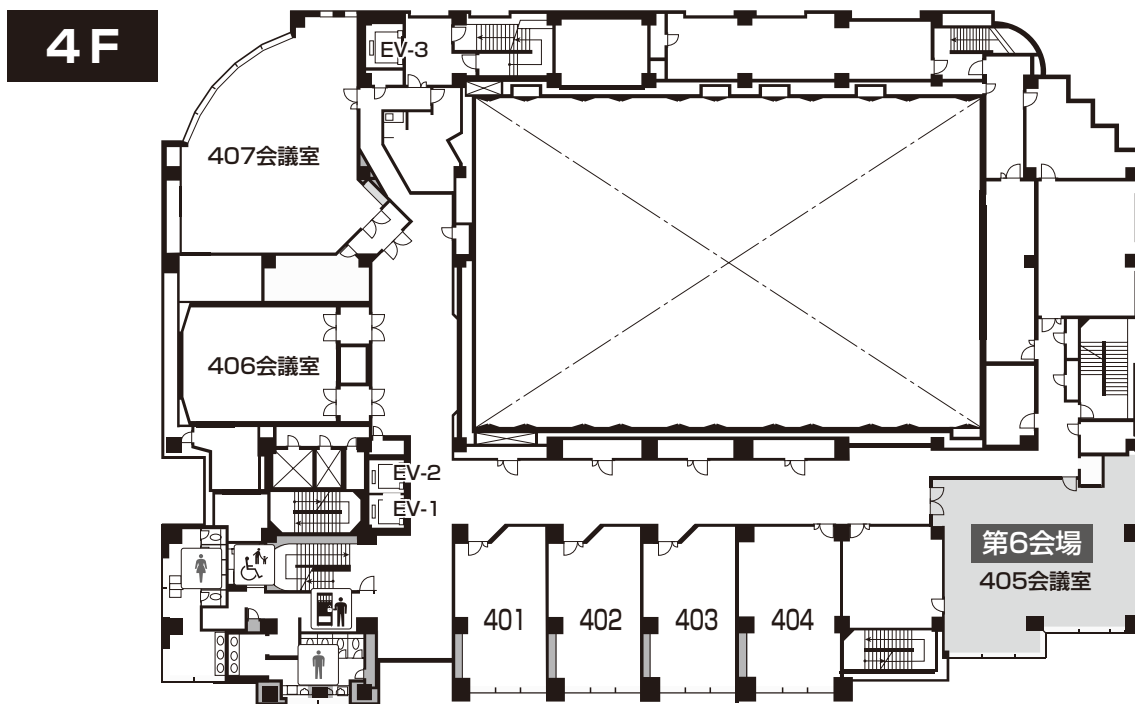
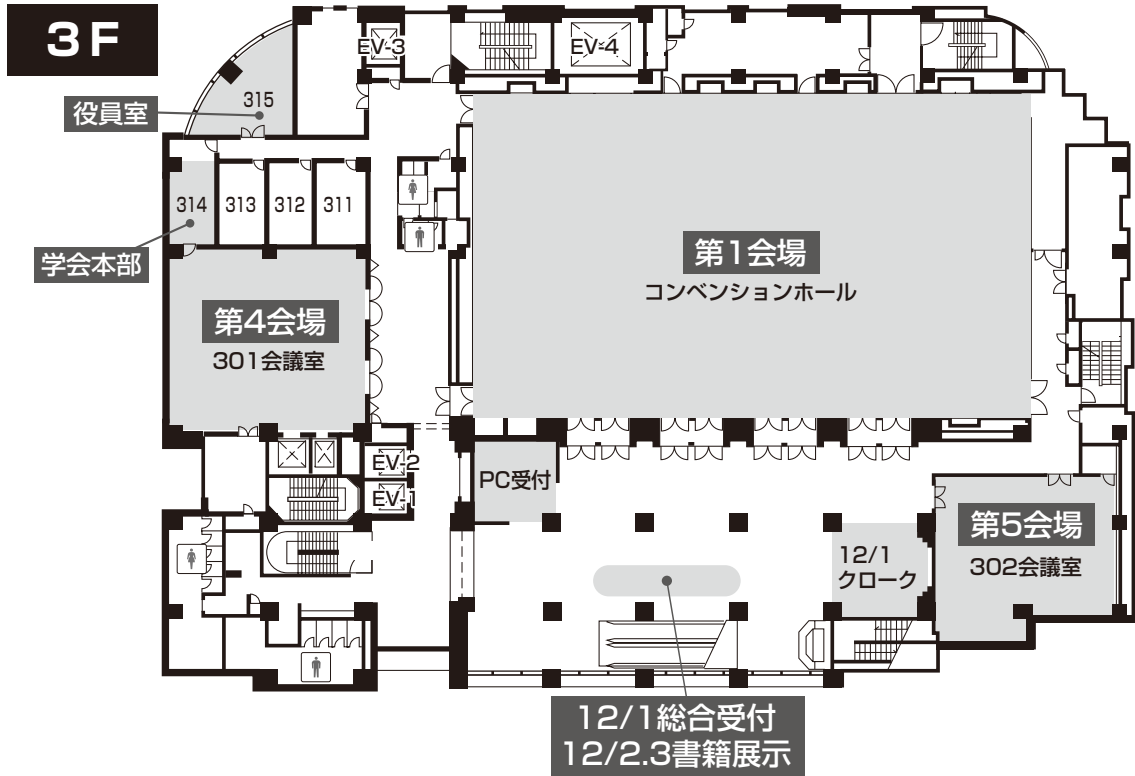




# 会場案内図

## 岡山コンベンションセンター





平成23年12月1日 (木)

ホテルグランヴィア岡山		岡山コンベンションセンター	
		第1会場 コンベンションホール	第4会場 302会議室
8:00			8:00
9:00	9:00~11:30		9:00
10:00	理事会 (3F サファイア)		10:00
11:00			11:00
	11:30~12:45		
12:00	代議員会 (総会) (4F フェニックス)		12:00
13:00			13:00
			13:20~13:50
			評議員の集い
14:00		14:00~15:30	14:00
		第47回鼻科学基礎問題研究会 「慢性鼻・副鼻腔炎症の 難治化因子とその制御」 司会：市村 恵一 (自治医大) 黒野 祐一 (鹿児島大)	
15:00			15:00
16:00		15:30~17:00	16:00
		第40回鼻科学臨床問題懇話会 「好酸球性副鼻腔炎の診断および 評価基準作成の試み」 司会：森山 寛 (慈恵医大) 藤枝 重治 (福井大)	
17:00		17:00~19:00	17:00
18:00		イブニングシンポジウム 「鼻・副鼻腔疾患に対する 抗炎症療法の現状と未来」 司会：岡本 美孝 (千葉大) 氷見 徹夫 (札幌医大)	18:00
19:00			19:00

平成23年12月2日 (金)

	第1会場 コンベンションホール	第2会場 イベントホール東	第3会場 イベントホール西
8:00	開会の辞		
8:30~9:30	教育セミナーⅠ 「鼻科学基礎研究への招待 —EBウイルスとの出会い—」 司会：洲崎 春海 (昭和大学) 演者：原測 保明 (旭川医大)	8:30~9:10 第1群 悪性腫瘍1 演題：1~4 座長：北野 博也 (鳥取大)	8:30~9:30 第6群 手術手技 演題：21~26 座長：久保 伸夫 (大阪歯大) 唐木 將行 (香川大)
9:00	9:40~10:40 教育セミナーⅡ 「内視鏡下鼻内手術の ピットフォール」 司会：平川 勝洋 (広島大) 演者：原田 保 (川崎医大)	9:10~9:50 第2群 頭蓋底 演題：5~8 座長：猪原 秀典 (大阪大)	9:30~10:30 第7群 蝶形骨洞 演題：27~32 座長：石川 和夫 (秋田大) 月館 利治 (獨協医大)
10:00	10:50~11:50 教育セミナーⅢ 「内視鏡下腫瘍摘出 —適応と手術手技—」 司会：岡本 美孝 (千葉大) 演者：池田 勝久 (順天堂大)	9:50~10:30 第3群 鼻中隔 演題：9~12 座長：兵頭 政光 (高知大)	10:30~11:50 第8群 解剖・教育 演題：33~40 座長：高橋 姿 (新潟大) 村上 信五 (名古屋市大)
11:00	12:10~13:10 ランチョンセミナーⅠ 「医療経済を考慮した花粉症の治療」 司会：竹中 洋 (大阪医大) 演者：荻野 敏 (大阪大)	10:30~11:10 第4群 鼻出血 演題：13~16 座長：伊藤 八次 (岐阜大)	11:10~11:50 第5群 嗅覚基礎1 演題：17~20 座長：暁 清文 (愛媛大)
12:00	12:10~13:10 ランチョンセミナーⅡ 「内視鏡下鼻内手術上達のための工夫： CT画像活用方法」 司会：夜陣 紘治 (広島大) 演者：中川 隆之 (京都大)	12:10~13:10 ランチョンセミナーⅢ 「喘息と副鼻腔炎—最近の考え方と 薬物治療の新たな展開—」 司会：間島 雄一 (三重大) 演者：野中 学 (東女医大)	12:10~13:10 ランチョンセミナーⅢ 「喘息と副鼻腔炎—最近の考え方と 薬物治療の新たな展開—」 司会：間島 雄一 (三重大) 演者：野中 学 (東女医大)
13:00	13:20~14:00 第23群 アレルギー臨床2 演題：104~107 座長：宇佐神 篤 (東海花粉症研究所)	13:20~14:30 第25群 良性腫瘍2 演題：111~117 座長：喜多村 健 (東京医科歯科大) 飯田 政弘 (東海大)	13:20~13:50 第26群 DCR 演題：118~120 座長：吉川 衛 (慈恵医大)
14:00	14:00~14:30 第24群 上顎洞 演題：108~110 座長：鈴木 秀明 (産業医大)	13:50~14:30 第27群 眼窩 演題：121~124 座長：比野平恭之 (昭和大学)	
14:40~15:00	理事長記念講演 司会：古川 侃 (金沢大)		
15:00	学会創立50周年記念講演 「副鼻腔炎—研究とその歴史—」 司会：竹中 洋 (大阪医大) 演者：馬場 駿吉 (名古屋市大)		
15:30~16:00	鼻科学会賞受賞講演 司会：竹中 洋 (大阪医大) 演者：児玉 悟 (大分大)		
16:00	特別講演 「炎症の収束に関わる脂質メディエーターの 代謝と網羅的解析」 司会：西崎 和則 (岡山大学) 演者：有田 誠 (東京大・薬)		
17:00	17:20~18:50 シンポジウムⅠ 「鼻アレルギー治療最前線 —新規治療法の有用性と限界—」 司会：増山 敬祐 (山梨大) 大久保公裕 (日医大)		
18:00			
19:00	19:00~ 会員懇親会		

平成23年12月2日 (金)

第4会場 301会議室	第5会場 302会議室	第6会場 405会議室	機器展示 2F ロビー	メモリアルホール 展示ホール			
					8:00		
8:30~9:10 第9群 好酸性性副鼻腔炎 演題:41~44 座長:中丸 裕爾 (北海道大)	8:30~9:20 第14群 睡眠障害 演題:62~66 座長:岡本 牧人 (北里大)	8:30~9:30 第19群 良性腫瘍1 演題:83~88 座長:吉原 俊雄 (東京女子医大) 将積日出夫 (富山大)	機器展示	メモリアル ホール	9:00		
9:10~9:50 第10群 症例 演題:45~48 座長:佐藤 宏昭 (岩手医大)	9:20~10:00 第15群 嗅覚臨床1 演題:67~70 座長:秋定 健 (川崎医大川崎病院)	9:30~10:30 第20群 外傷 演題:89~94 座長:大越 俊夫 (東邦大第2講座) 井口 郁雄 (広島市民病院)			10:00		
9:50~10:20 第11群 アレルギー臨床1 演題:49~51 座長:松原 篤 (弘前大)	10:00~10:30 第16群 嗅覚臨床2 演題:71~73 座長:小川 郁 (慶応大)	10:30~11:30 第21群 腫瘍類似疾患 演題:95~100 座長:武田 憲昭 (徳島大) 花澤 豊行 (千葉大)			11:00		
10:20~11:20 第12群 気道生理 演題:52~57 座長:久松 建一 (久松耳鼻咽喉科医院) 大木 幹文 (東邦大大橋病院)	10:30~11:10 第17群 嗅覚基礎2 演題:74~76 座長:野村 智幸 (新潟大)	11:30~12:00 第22群 腫瘍基礎 演題:101~103 座長:家根 且有 (近畿大奈良病院)			12:00		
11:20~12:00 第13群 アレルギー基礎 演題:58~61 座長:三輪 正人 (順天堂大)	11:10~12:00 第18群 真菌症 演題:77~82 座長:鈴木 正志 (大分大) 赤木 博文 (南岡山医療センター)				13:00		
					13:00		
13:10~14:20 第28群 副鼻腔炎臨床 演題:125~131 座長:三邊 武幸 (昭和大) 西池 季隆 (大阪大)	13:10~14:30 第29群 合併症 演題:132~139 座長:土師 知行 (倉敷中央) 大森 孝一 (福島県立医大)	13:10~13:40 第30群 嗅覚基礎3 演題:140~142 座長:高橋 宏尚 (愛媛大)			機器展示	メモリアル ホール	14:00
							15:00
					16:00		
					17:00		
17:20~18:40 第32群 悪性腫瘍2 演題:148~155 座長:岸本 誠司 (東京医科歯科大 頭頸部外科) 牧山 清 (日本大)					18:00		
					19:00		

平成23年12月3日 (土)

	第1会場 コンベンションホール	第2会場 イベントホール東	第3会場 イベントホール西
8:00			
9:00	<p>教育セミナーⅣ 8:50~9:30 「画像から読み取る手術所見」 司会：内藤 健晴 (藤田保衛大) 演者：児玉 悟 (大分大)</p>	<p>8:50~9:20 第33群 血管系腫瘍 演題：156~158 座長：森 望 (香川大)</p>	<p>8:50~9:50 第35群 ESS 演題：163~168 座長：湯本 英二 (熊本大) 池田 浩己 (日赤和歌山)</p>
	<p>教育セミナーⅤ 9:30~10:10 「嗅覚障害の保存的・手術療法」 司会：阪上 雅史 (兵庫医大) 演者：小林 正佳 (三重大)</p>	<p>9:20~10:00 第34群 嚢胞 演題：159~162 座長：鈴木 幹男 (琉球大)</p>	<p>9:50~10:30 第36群 前頭洞 演題：169~172 座長：原 晃 (筑波大)</p>
10:00	<p>10:10~10:50 教育セミナーⅥ 「顔面外傷への対応」 司会：清水 猛史 (滋賀医大) 演者：加瀬 康弘 (埼玉医大)</p>	<p>国際交流プログラム 10:10~10:50 International Session I 司会：Joong Saeng Cho (Kyonhee University) Akiyoshi Konno (Southern Tohoku General Hospital)</p>	<p>10:30~11:20 第37群 アレルギー性真菌性鼻副鼻腔炎 (AFRS) 演題：173~177 座長：柳 清 (聖路加国際病院)</p>
11:00	<p>10:50~12:20 パネルディスカッション 「鼻腔・副鼻腔腫瘍の切除と再建」 司会：丹生 健一 (神戸大) 木股 敬裕 (岡山大・形成)</p>	<p>国際交流プログラム 10:50~11:20 International Session II 司会：Manabu Nonaka (Tokyo Women's Medical University)</p> <p>国際交流プログラム 11:20~12:20 特別講演 司会：Hideyuki Kawauchi (Shimane University) 演者：Yong-Ju Jang (Ulsan University) Joo-Heon Yoon (Yonsei university)</p>	
12:00			
13:00	<p>12:30~13:30 ランチョンセミナーⅣ 「医療費問題と医療経済評価」 司会：古川 侃 (金沢大) 演者：坂巻 弘之 (名城大・薬)</p>	<p>12:30~13:30 ランチョンセミナーⅤ 「小児のアレルギー性鼻炎の治療」 司会：洲崎 春海 (昭和大) 演者：飯野ゆき子 (自治医大さいたま医療センター)</p>	<p>12:30~13:30 ランチョンセミナーⅥ 「線毛についての最近の進歩」 司会：馬場 駿吉 (名古屋市大) 演者：竹内 万彦 (三重大)</p>
14:00	<p>13:40~15:40 シンポジウムⅡ 「副鼻腔炎手術 —術式と術後評価基準の作成—」 司会：友田 幸一 (関西医大) 春名 真一 (獨協医大)</p>		
15:00	<p>閉会の辞</p>		
16:00			
17:00			
18:00			
19:00			

平成23年12月3日 (土)

第4会場 301会議室	第5会場 302会議室	第6会場 405会議室	機器展示 2F ロビー	メモリアルホール 展示ホール	
8:00~8:50 モーニングセミナー I 「One Airway One Disease としてのアレルギー性鼻炎」 司会：今野 昭義 (総合南東北病院) 演者：太田 伸男 (山形大)	モーニングセミナー II 8:00~8:50 「上気道炎症におけるステロイド薬の位置づけ—アレルギー性鼻炎、好酸球性副鼻腔炎におけるステロイド療法を中心に—」 司会：斎藤 等 (福井大) 演者：松根 彰志 (日医大)				8:00
9:00~10:20 第38群 良性腫瘍 3 演題：178~185 座長：山下 裕司 (山口大) 河田 了 (大阪医大)	9:00~10:00 第40群 悪性腫瘍 3 演題：192~197 座長：福田 論 (北海道大) 中島 格 (久留米大)	8:50~9:30 第43群 一酸化窒素(NO) 演題：206~209 座長：假谷 伸 (岡山大)	機器展示	メモリアルホール	9:00
10:20~11:20 第39群 アレルギー臨床 3 演題：186~191 座長：榎本 雅夫 (NPO 日本健康増進支援機構) 本田 耕平 (秋田大)	10:00~10:40 第41群 悪性腫瘍 4 演題：198~201 座長：林 達哉 (旭川医大)	9:30~10:40 第44群 副鼻腔炎基礎 演題：210~216 座長：山田武千代 (福井大) 鈴木 元彦 (名市大)			10:00
	10:40~11:20 第42群 嗅覚臨床 3 演題：202~205 座長：近藤 健二 (東京大)	10:40~11:20 第45群 副鼻腔炎治療 演題：217~220 座長：出島 健司 (京都第二赤十字病院)			11:00
					12:00
					13:00
					14:00
					15:00
					16:00
					17:00
					18:00
					19:00

## 第50回日本鼻科学会総会ならびに学術講演会

[平成23年12月1日(木)]

第1会場：コンベンションホール

### 第47回鼻科学基礎問題研究会

14:00～15:30

#### 慢性鼻・副鼻腔炎症の難治化因子とその制御

司会：市村 恵一（自治医大），黒野 祐一（鹿児島大）

1. 慢性鼻・副鼻腔炎症における線溶因子の関与  
瀬嶋 尊之（自治医大）
2. 好酸球性副鼻腔炎における VEGF の関与  
大堀純一郎（鹿児島大）
3. 鼻茸線維芽細胞からのサイトカイン分泌の網羅的解析と IL-17A への応答性  
本間 博友（順天堂大）
4. 難治化因子としての黄色ブドウ球菌外毒素とサイトカイン産生制御機構の解析  
檜垣 貴哉（岡山大）

第1会場：コンベンションホール

### 第40回鼻科学臨床問題懇話会

15:30～17:00

#### 好酸球性副鼻腔炎の診断および評価基準作成の試み

司会：森山 寛（慈恵医大），藤枝 重治（福井大）

1. 全国12施設（3014例）の副鼻腔手術から解析した好酸球性副鼻腔炎の術前診断  
坂下 雅文（福井大）
2. 好酸球性副鼻腔炎における診断基準の論点  
石戸谷淳一（横浜市大）
3. 好酸球性副鼻腔炎と NO  
寺田 哲也（大阪医大）
4. 好酸球性鼻副鼻腔炎に対する手術療法と術後治療  
松脇 由典（慈恵医大）
5. 開業医の立場からみた好酸球性副鼻腔炎の診断基準  
川村 繁樹（川村耳鼻咽喉科クリニック）



第1会場：コンベンションホール

イブニングシンポジウム

17:00～19:00

鼻・副鼻腔疾患に対する抗炎症療法の現状と未来

司会：岡本 美孝（千葉大），氷見 徹夫（札幌医大）

1. 抗ロイコトリエン療法の現状と未来  
白崎 英明（札幌医大）
2. 抗ヒスタミン薬の現状と未来  
青井 典明（島根大）
3. ステロイド薬の抗炎症効果：鼻噴霧用ステロイド薬の初期療法薬としての可能性  
岡野 光博（岡山大）
4. 慢性副鼻腔炎におけるマクロライド療法とチオレドキシシン  
古田 厚子（昭和大）

[平成23年12月2日（金）]

第1会場

教育セミナーⅠ

8:30～9:30

鼻科学基礎研究への招待—EB ウイルスとの出会い—

司会：洲崎 春海（昭和大）

演者：原淵 保明（旭川医大）

第1会場

教育セミナーⅡ

9:40～10:40

内視鏡下鼻内手術のピットフォール

司会：平川 勝洋（広島大）

演者：原田 保（川崎医大）

第1会場

教育セミナーⅢ

10:50～11:50

内視鏡下腫瘍摘出—適応と手術手技—

司会：岡本 美孝（千葉大）

演者：池田 勝久（順天堂大）

第1会場

ランチョンセミナーⅠ 12:10~13:10

---

医療経済を考慮した花粉症の治療

司会：竹中 洋（大阪医大）

演者：荻野 敏（大阪大）

第2会場

ランチョンセミナーⅡ 12:10~13:10

---

内視鏡下鼻内手術上達のための工夫：CT画像活用方法

司会：夜陣 紘治（広島大）

演者：中川 隆之（京都大）

第3会場

ランチョンセミナーⅢ 12:10~13:10

---

喘息と副鼻腔炎—最近の考え方と薬物治療の新たな展開—

司会：間島 雄一（三重大）

演者：野中 学（東女医大）

第1会場

理事長記念講演 14:40~15:00

---

司会：古川 仍（金沢大）

演者：竹中 洋（大阪医大）

第1会場

学会創立50周年記念講演 15:00~15:30

---

副鼻腔炎—研究とその歴史—

司会：竹中 洋（大阪医大）

演者：馬場 駿吉（名古屋市大）

第1会場

鼻科学会賞受賞講演

15:30~16:00

司会：竹中 洋 (大阪医大)

演者：児玉 悟 (大分大)

第1会場

特別講演

16:00~17:10

炎症の収束に関わる脂質メディエーターの代謝と網羅的解析

司会：西崎 和則 (岡山大)

演者：有田 誠 (東京大・薬)

第1会場

シンポジウム I

17:20~18:50

鼻アレルギー治療最前線—新規治療法の有用性と限界—

司会：増山 敬祐 (山梨大), 大久保公裕 (日医大)

1. 薬物併用療法の有用性  
後藤 穰 (日医大)
2. 重症鼻過敏症に対する後鼻神経切断術  
竹野 幸夫 (広島大)
3. 花粉症に対するボツリヌス治療の現状  
上條 篤 (埼玉医大)
4. スギ舌下免疫療法の最新の臨床知見  
堀口 茂俊 (千葉大)

[平成23年12月3日 (土)]

第4会場

モーニングセミナー I

8:00~8:50

One Airway One Disease としてのアレルギー性鼻炎

司会：今野 昭義 (総合南東北病院)

演者：太田 伸男 (山形大)

第5会場

モーニングセミナーⅡ

8:00~8:50

上気道炎症におけるステロイド薬の位置づけ

—アレルギー性鼻炎, 好酸球性副鼻腔炎におけるステロイド療法を中心に—

司会: 斎藤 等 (福井大)

演者: 松根 彰志 (日医大)

第1会場

教育セミナーⅣ

8:50~9:30

画像から読み取る手術所見

司会: 内藤 健晴 (藤田保衛大)

演者: 児玉 悟 (大分大)

第1会場

教育セミナーⅤ

9:30~10:10

嗅覚障害の保存的・手術療法

司会: 阪上 雅史 (兵庫医大)

演者: 小林 正佳 (三重大)

第1会場

教育セミナーⅥ

10:10~10:50

顔面外傷への対応

司会: 清水 猛史 (滋賀医大)

演者: 加瀬 康弘 (埼玉医大)

第1会場

パネルディスカッション

10:50~12:20

鼻腔・副鼻腔腫瘍の切除と再建

司会：丹生 健一（神戸大），木股 敬裕（岡山大・形成）

1. 上顎洞癌におけるシスプラチン急速動注化学療法  
吉崎 智一（金沢大）
2. 上顎洞癌集学的治療 最小切除手術  
西野 宏（自治医大）
3. 進行上顎洞癌に対する手術—術野の確保と眼窩底の再建を中心に—  
河田 了（大阪医大）
4. 鼻副鼻腔悪性腫瘍に対する手術治療  
土井 清司（神戸大）
5. 鼻・副鼻腔悪性腫瘍の切除と再建～当科の取り組み～  
小野田友男（岡山大）

第2会場

国際交流プログラム

International Session I

10:10~10:50

司会：Joong Saeng Cho（Kyonhee University）  
Akiyoshi Konno（Southern Tohoku General Hospital）

1. Sublingual immunotherapy induces regulatory T cells  
in murine allergic rhinitis model and suppresses nasal symptoms  
Hideyuki Kawauchi（Shimane University, Shimane, Japan）
2. The new method of nasal dermoplasty（MW grafting method）  
in patients with large septal perforations  
Keiichi Ichimura（Jichi Medical University School of Medicine, Tochigi, Japan）
3. The importance of the preservation of sinus and nasal mucosal epithelium  
—from the point of view of antioxidants  
Ming-Tang Lai（Taipei Medical University—Wanfang Medical Center, Taipei, Taiwan）
4. The effects of sleep disordered breathing on physical traits,  
school performance and behavior of Korean elementary school students in the upper grade levels  
Jae Hoon Cho（Konkuk University, Seoul, Korea）

第2会場

国際交流プログラム

International Session II

10:50~11:20

司会：Manabu Nonaka (Tokyo Women's Medical University)

1. Regulation of MUC5AC by hypoxia in human airway epithelia  
Chang-Hoon Kim (Yonsei University College of Medicine, Seoul, Korea)
2. The clinical significance of increased eosinophil cationic protein in non-allergic chronic sinusitis  
Hyun Jik Kim (Chung-Ang University College of Medicine, Seoul, Korea)
3. Morphologic and regenerating characteristics of the perichondrial cells  
Byung Hoon Ahn (Keimyung University, Daegu, Korea)

第2会場

国際交流プログラム

特別講演

11:20~12:20

司会：Hideyuki Kawauchi (Shimane University)

1. Role of rhinovirus in the pathogenesis of sinusitis  
Yong-Ju Jang (Ulsan University, Seoul, Korea)
2. The un-unified airway : two distinct TLR-mediated pathways regulate house dust mite-induced allergic disease in the upper and lower airways  
Joo-Heon Yoon (Yonsei University, Seoul, Korea)

第1会場

ランチョンセミナーⅣ

12:30~13:30

医療費問題と医療経済評価

司会：古川 侑 (金沢大)

演者：坂巻 弘之 (名城大・薬)

第2会場

ランチョンセミナーⅤ

12:30~13:30

小児のアレルギー性鼻炎の治療

司会：洲崎 春海 (昭和大)

演者：飯野ゆき子 (自治医大さいたま)

第3会場

ランチョンセミナーⅥ

12:30～13:30

線毛についての最近の進歩

司会：馬場 駿吉（名古屋市大）

演者：竹内 万彦（三重大）

第1会場

シンポジウムⅡ

13:40～15:40

副鼻腔炎手術—術式と術後評価基準の作成—

司会：友田 幸一（関西医大），春名 眞一（獨協医大）

1. 新たな術式作成の意義と経緯  
黒野 祐一（鹿児島大）
2. 副鼻腔炎手術—術式と術後評価基準の作成—  
朝子 幹也（関西医大）
3. 新たな術式のアンケート結果について  
春名 眞一（獨協医大）
4. 自覚症状・QOL スコア，内視鏡所見，および CT 画像所見を用いた内視鏡手術の評価  
鴻 信義（慈恵医大）
5. 嗅覚機能評価  
三輪 高喜（金沢医大）
6. 鼻腔通気度検査と音響鼻腔計測検査を用いた評価  
竹内 裕美（鳥取大）

## 一般演題

[平成23年12月2日(金)]

第2会場

**第1群 悪性腫瘍1 (演題: 1~4)**

8:30~9:10

座長: 北野 博也 (鳥取大)

1. Kadish 分類A 嗅神経芽細胞腫に対する内視鏡下手術による摘出の検討  
○中井 義紀<sup>1</sup>, 家根 且有<sup>1</sup>, 金澤 成典<sup>1</sup>, 榊井 貴史<sup>3</sup>, 高瀬 彩子<sup>1</sup>, 太田 善夫<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>近畿大学医学部奈良病院耳鼻咽喉科, <sup>2</sup>近畿大学医学部奈良病院臨床検査  
<sup>3</sup>奈良県立医科大学耳鼻咽喉科
2. 鼻副鼻腔悪性腫瘍に対する重粒子線治療後症例  
○森實 理恵, 竹内 裕美, 竹内 薫, 福島 慶, 北野 博也  
鳥取大学医学部感覚運動医学講座耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野
3. 鼻副鼻腔領域悪性腫瘍に対する内視鏡手術の検討  
○御厨 剛史, 橋本 誠, 山本 陽平, 山下 裕司  
山口大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科学分野
4. 嗅神経芽細胞腫に対する内視鏡下鼻内手術術式標準化試案  
○中川 隆之<sup>1</sup>, 児玉 悟<sup>2</sup>, 小林 正佳<sup>3</sup>, 御厨 剛史<sup>4</sup>, 朝子 幹也<sup>5</sup>, 坂本 達則<sup>1</sup>, 荻野枝里子<sup>1</sup>  
伊藤 壽一<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>京都大学大学院医学研究科耳鼻咽喉科・頭頸部外科, <sup>2</sup>大分大学医学部耳鼻咽喉科  
<sup>3</sup>三重大学大学院医学研究科耳鼻咽喉科・頭頸部外科, <sup>4</sup>山口大学大学院医学研究科耳鼻咽喉科  
<sup>5</sup>関西医科大学枚方病院耳鼻咽喉科

第2会場

**第2群 頭蓋底 (演題: 5~8)**

9:10~9:50

座長: 猪原 秀典 (大阪大)

5. 小児における内視鏡下経鼻下垂体部手術の経験  
○村下 秀和<sup>1</sup>, 上前泊 功<sup>1</sup>, 田渕 経司<sup>1</sup>, 原 晃<sup>1</sup>, 阿久津博義<sup>2</sup>, 高野 晋吾<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>筑波大学耳鼻咽喉科, <sup>2</sup>筑波大学脳神経外科
6. 外傷12年後に潜在性髄液鼻漏の診断で内視鏡下鼻内手術を施行した1例  
○本田 耕平, 浅香 力, 斎藤 秀和, 石川 和夫  
秋田大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科・頭頸部外科学



7. Bath-plug-technique を用いて整復した難治性鼻性髄液漏の1例

○恩田 信人, 浅香 大也, 大村 和弘, 中山 次久, 大櫛 哲史, 鴻 信義, 森山 寛  
東京慈恵会医科大学耳鼻咽喉科

8. 当科における鼻性髄液漏症例の検討

○尹 泰貴<sup>1</sup>, 朝子 幹也<sup>1</sup>, 近野 哲史<sup>2</sup>, 阪上 智史<sup>2</sup>, 高田 洋平<sup>1</sup>, 友田 幸一<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>関西医科大学付属枚方病院耳鼻咽喉・頭頸部外科, <sup>2</sup>市立岸和田市民病院

第2会場

第3群 鼻中隔 (演題: 9~12)

9:50~10:30

座長: 兵頭 政光 (高知大)

9. 鼻中隔膿瘍を伴った侵襲性副鼻腔アスペルギルス症の1例

○牧原靖一郎<sup>1,2</sup>, 山本 美紀<sup>1</sup>, 赤木 成子<sup>1</sup>, 津村 宗近<sup>2</sup>, 森下 常盤<sup>2</sup>, 春名 威範<sup>3</sup>, 野田 洋平<sup>3</sup>  
檜垣 貴哉<sup>3</sup>, 假谷 伸<sup>3</sup>, 岡野 光博<sup>3</sup>, 西崎 和則<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>岡山赤十字病院耳鼻咽喉科, <sup>2</sup>香川労災病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科  
<sup>3</sup>岡山大学大学院医歯薬学総合研究科耳鼻咽喉・頭頸部外科学

10. 鼻中隔に播種をきたした脊索腫の1例

○鈴木 祐輔, 太田 伸男, 伊藤 吏  
山形大学医学部耳鼻咽喉・頭頸部外科学講座

11. 鼻中隔全摘出術を行った鼻中隔原発腺様嚢胞癌の1例

○唐木 将行, 秋山 貢佐, 森 望  
香川大学医学部耳鼻咽喉科頭頸部外科

12. 内視鏡下鼻中隔穿孔閉鎖術

○牛尾 宗貴<sup>1</sup>, 近藤 健二<sup>1</sup>, 金谷 佳織<sup>1</sup>, 馬場信太郎<sup>1</sup>, 溜箭 紀子<sup>2</sup>, 永井 真帆<sup>3</sup>, 井野 賢司<sup>4</sup>  
山嵜 達也<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>東京大学耳鼻咽喉科, <sup>2</sup>NTT 東日本関東病院耳鼻咽喉科, <sup>3</sup>JR 東京総合病院耳鼻咽喉科  
<sup>4</sup>東京大学放射線部

第2会場

第4群 鼻出血 (演題: 13~16)

10:30~11:10

座長: 伊藤 八次 (岐阜大)

13. 当院における鼻出血症例の検討~難治性鼻出血に対する手術症例の検討~

○金井 健吾, 堀 泰高, 岡部 洋平  
香川県立中央病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科

14. 血管塞栓術にて止血しえた難治性鼻出血の3例

○池宮城慶寛<sup>1</sup>, 山本 昌彦<sup>1</sup>, 鈴木 光也<sup>1</sup>, 吉田 友英<sup>1</sup>, 野村 俊之<sup>1</sup>, 大和田聡子<sup>1</sup>, 重田美由子<sup>1</sup>  
田村 裕也<sup>1</sup>, 長谷部光泉<sup>2</sup>

<sup>1</sup>東邦大学医療センター佐倉病院耳鼻咽喉科, <sup>2</sup>東邦大学医療センター佐倉病院放射線科

15. 内頸動脈仮性動脈瘤による大量鼻出血の1例

○宇野 匡祐<sup>1</sup>, 松脇 由典<sup>1</sup>, 石橋 敏寛<sup>2</sup>, 森 良介<sup>2</sup>, 浅香 大也<sup>1</sup>, 岡野 晋<sup>1</sup>, 森山 寛<sup>1</sup>

<sup>1</sup>東京慈恵会医科大学医学部耳鼻咽喉科, <sup>2</sup>東京慈恵会医科大学医学部脳神経外科

16. 非外傷性内頸動脈瘤の破裂から致命的鼻出血を来した症例

○松島 康二, 山本 賢史, 安田真美子, 瀧田 留美, 勝田 慎也, 長船 宏隆, 枝松 秀雄

東邦大学医学部附属大森病院第一耳鼻咽喉科学教室

第2会場

第5群 嗅覚基礎1 (演題: 17~20)

11:10~11:50

座長: 暁 清文 (愛媛大)

17. マウス単一糸球に属する細胞群の匂い応答

○菊田 周<sup>1,2</sup>, Wei R. Chen<sup>2</sup>

<sup>1</sup>東京大学医学部耳鼻咽喉科, <sup>2</sup>テキサス大学医学部ヒューストン神経生物

18. 嗅球における移植骨髄細胞の役割

○野田 洋平, 西崎 和則, 吉延 潤子, 折田 頼尚

岡山大学耳鼻咽喉・頭頸部外科

19. 粉末飼料飼育マウスで見られる脳室下層における神経新生と嗅覚機能の低下

柏柳 誠<sup>1</sup>, ○宇津木千鶴<sup>1,2</sup>, 松田 光悦<sup>2</sup>

<sup>1</sup>旭川医科大学生理学講座神経機能分野, <sup>2</sup>旭川医科大学医学部口腔外科学講座

20. 嗅上皮再生時における嗅球内 BDNF 発現の検討

○浦長瀬昌宏, 勝沼紗矢香, 土井 清司, 丹生 健一

神戸大学大学院医学研究科外科系講座耳鼻咽喉科頭頸部外科学分野

第3会場

第6群 手術手技 (演題: 21~26)

8:30~9:30

座長: 久保 伸夫 (大阪歯大), 唐木 將行 (香川大)

21. 鼻涙管下鼻甲介スウィング法と変法

○葛 佳明

南大阪葛耳鼻咽喉科

22. 日帰り鼻腔形態改善手術の患者満足度の検討

○荒木 進<sup>1,2</sup>, 萩原 晃<sup>2,3</sup>

<sup>1</sup>おおたかの森耳鼻科モーニングクリニック, <sup>2</sup>東京医科大学耳鼻咽喉科学教室, <sup>3</sup>厚生中央病院

23. 当院での内視鏡下後鼻神経切断術

○田村 芳寛<sup>1</sup>, 廣芝 新也<sup>1</sup>, 中川 隆之<sup>2</sup>

<sup>1</sup>ひろしば耳鼻咽喉科京都みみはな手術センター, <sup>2</sup>京都大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科

24. 当科におけるハイドロデブリッターシステムの使用経験

○初鹿 恭介<sup>1</sup>, 上條 篤<sup>2</sup>, 森山 元大<sup>1</sup>, 金井 真理<sup>1</sup>, 増山 敬祐<sup>1</sup>

<sup>1</sup>山梨大学大学院医学工学総合研究部頭頸部・耳鼻咽喉科, <sup>2</sup>埼玉医科大学耳鼻咽喉科

25. 内視鏡下鼻内手術による鼻中隔粘膜弁を用いた鼻咽腔再建の応用

○花澤 豊行, 米倉 修二, 山本陸三朗, 岡本 美孝

千葉大学大学院医学研究院耳鼻咽喉科・頭頸部腫瘍学

26. 鼻副鼻腔線維性骨異形成性症に伴う鼻閉への対応: デバルキング法の経験

○阿部 郁<sup>1</sup>, 岡野 光博<sup>2</sup>, 橋 智靖<sup>1</sup>, 濱田 浩司<sup>3</sup>, 檜垣 貴哉<sup>2</sup>, 西崎 和則<sup>2</sup>

<sup>1</sup>姫路赤十字病院耳鼻咽喉科, <sup>2</sup>岡山大学大学院医歯薬学総合研究科耳鼻咽喉・頭頸部外科

<sup>3</sup>国立病院機構岡山医療センター耳鼻咽喉科

第3会場

第7群 蝶形骨洞 (演題: 27~32)

9:30~10:30

座長: 石川 和夫 (秋田大), 月舘 利治 (獨協医大)

27. 眼窩先端症候群をきたした蝶形骨洞アスペルギルス症の1例

○小町 太郎, 中村 毅, 後藤 穰, 馬場 俊吉, 大久保公裕

日本医科大学耳鼻咽喉科学教室

28. 内視鏡下両側経鼻腔法により摘出した蝶形骨洞乳頭腫の1例

○讃岐 徹治, 湯本 英二, 山田 卓生, 西本 康兵

熊本大学耳鼻咽喉科頭頸部外科

## 29. 両側鼻腔アプローチによる内視鏡下副鼻腔手術を施行した蝶形骨洞乳頭腫例

○辻村 隆司<sup>1</sup>, 安里 亮<sup>2</sup>, 本多 啓吾<sup>2</sup>, 渡邊 佳紀<sup>1</sup>, 森 祐輔<sup>1</sup>, 神田 智子<sup>2</sup>, 辻 純<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>京都医療センター耳鼻咽喉科, <sup>2</sup>京都医療センター頭頸部外科

## 30. 当科における蝶形骨洞単独病変17例の検討

○鈴木久美子<sup>1</sup>, 倉富勇一郎<sup>1</sup>, 佐藤慎太郎<sup>1</sup>, 門司 幹男<sup>1</sup>, 島ノ江洋平<sup>1</sup>, 横川 恭子<sup>2</sup>, 井之口 昭<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>佐賀大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科, <sup>2</sup>佐賀県立病院好生館

## 31. 孤立性蝶形骨洞病変29例の検討

○北村 貴裕<sup>1,2</sup>, 西池 季隆<sup>1</sup>, 識名 崇<sup>1</sup>, 村田 潤子<sup>3</sup>, 太田 有美<sup>1</sup>, 猪原 秀典<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>大阪大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科・頭頸部外科学, <sup>2</sup>大阪厚生年金病院耳鼻咽喉科  
<sup>3</sup>順天堂大学耳鼻咽喉科

## 32. 孤立性の蝶形骨洞炎・真菌症に対する手術—経鼻中隔法によるアプローチ—

○寺尾 元<sup>1</sup>, 比野平恭之<sup>2</sup>, 洲崎 春海<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>東京都保健医療公社荏原病院耳鼻咽喉科, <sup>2</sup>昭和大学医学部耳鼻咽喉科学教室

## 第3会場

## 第8群 解剖・教育 (演題: 33~40)

10:30~11:50

座長: 高橋 姿 (新潟大), 村上 信五 (名市大)

## 33. 副鼻腔炎症例における前頭陥凹周囲の病変の検討

—CT 画像による解剖学的構造異常の解析を中心に—

○久保田和法<sup>1</sup>, 竹野 幸夫<sup>2</sup>, 平川 勝洋<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>尾道総合病院耳鼻咽喉科, <sup>2</sup>広島大学病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科

## 34. Frontal recess の解剖学的検討と内視鏡下鼻内手術後の前頭洞口開存度について

○浅香 大也, 中山 次久, 大櫛 哲史, 松脇 由典, 吉川 衛, 鴻 信義, 森山 寛  
 東京慈恵会医科大学耳鼻咽喉科

## 35. Frontal recess の解剖学的統計と鼻前頭管への影響

○田中 秀峰<sup>1</sup>, 村下 秀和<sup>2</sup>, 宮本 秀高<sup>1</sup>, 米納 昌恵<sup>1</sup>, 田淵 経司<sup>3</sup>, 原 晃<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>筑波学園病院耳鼻咽喉科, <sup>2</sup>むらした耳鼻咽喉科, <sup>3</sup>筑波大学大学院人間総合科学研究科

## 36. 鼻副鼻腔疾患と手術における MRI の MPR (多断面再構成) 画像

○橋本 誠, 御厨 剛史, 山本 陽平, 山下 裕司  
 山口大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科学分野

37. ESS術前における合併症回避のための Volume rendering image 利用について

○平井 悠, 岡野 光博, 石原 久司, 春名 威範, 野田 洋平, 檜垣 貴哉, 折田 頼尚  
假谷 伸, 西崎 和則

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科耳鼻咽喉・頭頸部外科

38. モデルを使った On The Scene での ESS 教育の工夫

○村田 英之<sup>1</sup>, 山下 樹理<sup>2</sup>, 馬場 一泰<sup>1</sup>, 友田 幸一<sup>1</sup>

<sup>1</sup>関西医科大学耳鼻咽喉科, <sup>2</sup>産業技術総合研究所

39. ナビゲーションシステムを用いた, 鼻科手術教育について

○馬場 一泰, 村田 英之, 朝子 幹也, 友田 幸一

関西医科大学耳鼻咽喉科

40. 鶏卵を用いた内視鏡下鼻内手術操作トレーニングとその教育的効果

○荻野枝里子, 中川 隆之, 松永 麻美, 坂本 達則, 伊藤 壽一

京都大学大学院医学研究科耳鼻咽喉科・頭頸部外科

第4会場

第9群 好酸球性副鼻腔炎 (演題: 41~44)

8:30~9:10

座長: 中丸 裕爾 (北海道大)

41. 当科における好酸球性鼻副鼻腔炎手術症例の検討

○大野 雅昭, 野村 智幸, 奥村 仁, 石岡孝二郎, 佐藤 裕子, 宮島 宏美, 高橋 姿  
新潟大学医学部耳鼻咽喉科

42. 好酸球性副鼻腔炎手術症例の嗅覚検討

○岡 秀樹<sup>1</sup>, 都築 建三<sup>1</sup>, 竹林 宏記<sup>2</sup>, 児島 雄介<sup>1</sup>, 深澤啓二郎<sup>3</sup>, 阪上 雅史<sup>1</sup>

<sup>1</sup>兵庫医科大学病院耳鼻咽喉科, <sup>2</sup>大阪厚生年金病院, <sup>3</sup>深澤耳鼻咽喉科

43. 好酸球性副鼻腔炎における嗅覚障害について

○森 恵莉<sup>1,2</sup>, 満山知恵子<sup>2</sup>, 山崎ももこ<sup>2</sup>, 大櫛 哲史<sup>2</sup>, 松脇 由典<sup>2</sup>, 森山 寛<sup>2</sup>

<sup>1</sup>聖路加国際病院耳鼻咽喉科, <sup>2</sup>東京慈恵会医科大学附属病院耳鼻咽喉科教室

44. 好酸球性副鼻腔炎の術前診断指針の検討

○佐久間康徳<sup>1</sup>, 石戸谷淳一<sup>1</sup>, 平間真理子<sup>1</sup>, 塩野 理<sup>1</sup>, 山下ゆき子<sup>1</sup>, 河野 敏朗<sup>2</sup>, 佃 守<sup>3</sup>

<sup>1</sup>横浜市立大学附属市民総合医療センター, <sup>2</sup>西横浜国際総合病院

<sup>3</sup>横浜市立大学大学院医学研究科頭頸部生体機能・病態医科学

第4会場

第10群 症例 (演題: 45~48)

9:10~9:50

座長: 佐藤 宏昭 (岩手医大)

45. 2歳で確認され4歳で摘出された小児鼻ポリープ症例

○藤倉 輝道<sup>1</sup>, 松根 彰志<sup>1</sup>, 大久保公裕<sup>2</sup>

<sup>1</sup>日本医科大学武蔵小杉病院耳鼻咽喉科, <sup>2</sup>日本医科大学付属病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科

46. 鼻腔内過剰歯の1例

○中西 清香, 兼田美紗子, 吉崎 智一

金沢大学医薬保健研究域医学系耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室

47. 副鼻腔異物の3症例

○綾田 展明, 井口 郁雄, 江草憲太郎, 皆木 正人, 福増 一郎, 三浦 直一

広島市立広島市民病院耳鼻咽喉科頭頸部外科

48. 顔面の鏡異物の1例

○桑島 秀, 佐藤 宏昭

岩手医科大学耳鼻咽喉科学

第4会場

第11群 アレルギー臨床1 (演題: 49~51)

9:50~10:20

座長: 松原 篤 (弘前大)

49. 花粉飛散情報の課題と意義

○米倉 修二<sup>1</sup>, 山本陸三朗<sup>1</sup>, 櫻井 大樹<sup>1</sup>, 花澤 豊行<sup>1</sup>, 岡本 美孝<sup>1</sup>, 諸田 雪江<sup>2</sup>, 横田 匡彦<sup>2</sup>  
加納 佳代<sup>3</sup>

<sup>1</sup>千葉大学大学院医学研究院耳鼻咽喉科頭頸部腫瘍学, <sup>2</sup>ウェザー・サービス株式会社

<sup>3</sup>株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ

50. スギ花粉症に対するセルフケアの現状

○榎本 雅夫<sup>1,2</sup>, 嶽 良博<sup>1</sup>, 裕田 猛真<sup>2</sup>, 中原 啓<sup>2</sup>, 比嘉 輝之<sup>2</sup>, 比嘉 朋代<sup>2</sup>

<sup>1</sup>NPO 日本健康増進支援機構, <sup>2</sup>りんくう総合医療センター耳鼻咽喉科

51. スギ花粉症患者における労働生産性—花粉飛散量の影響

○塩崎 由梨, 鈴木 裕史, 荻野 敏

大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻

第4会場

第12群 気道生理 (演題: 52~57)

10:20~11:20

座長: 久松 建一 (久松耳鼻咽喉科医院), 大木 幹文 (東邦大大橋病院)

52. 鼻腔での各部位での温度変化と粘膜温度変化について

○野々田岳夫, 細田 泰男, 大谷真喜子

細田耳鼻科 EAR CLINIC

53. 鼻腔模擬モデルを用いた気流実験

○竹尾 輝久<sup>1</sup>, 厚見 拓<sup>1</sup>, 斎藤 弘亮<sup>1</sup>, 関根 基樹<sup>1</sup>, 鈴木 千尋<sup>2</sup>, 高倉 葉子<sup>2</sup>, 今井 裕<sup>3</sup>

<sup>1</sup>東海大学医学部耳鼻咽喉科, <sup>2</sup>東海大学工学部工学科, <sup>3</sup>東海大学医学部画像診断科

54. 鼻副鼻腔模擬モデルの気流数値シミュレーション

○厚見 拓<sup>1</sup>, 竹尾 輝久<sup>1</sup>, 斎藤 弘亮<sup>1</sup>, 関根 基樹<sup>1</sup>, 鈴木 千尋<sup>2</sup>, 高倉 葉子<sup>2</sup>, 今井 裕<sup>3</sup>

<sup>1</sup>東海大学医学部耳鼻咽喉科, <sup>2</sup>東海大学工学部工学科, <sup>3</sup>東海大学医学部画像診断科

55. 音響鼻腔計測法を用いて計測した血管収縮薬使用前後の鼻腔開存性

○野本 美香, 多田 靖宏, 鈴木 輝久, 谷 亜希子, 小野 美穂, 鈴木 亮, 大森 孝一

福島県立医科大学医学部耳鼻咽喉科

56. 新規薬事承認された acoustic rhinometer による鼻閉の評価

○大木 幹文, 山口 宗太, 大久保はるか, 石井 祥子, 櫻井秀一郎, 久保田俊輝, 大越 俊夫

東邦大学医学部耳鼻咽喉科学第2講座

57. 喘息を合併した慢性副鼻腔炎患者における呼吸機能の検討

○大前 祥子, 中山 次久, 大櫛 哲史, 浅香 大也, 松脇 由典, 吉川 衛, 鴻 信義

森山 寛

東京慈恵会医科大学耳鼻咽喉科教室

第4会場

第13群 アレルギー基礎 (演題: 58~61)

11:20~12:00

座長: 三輪 正人 (順天堂大)

58. ヒスタミン H1 受容体拮抗薬を用いたスギ花粉症初期療法における

H1 受容体とサイトカイン遺伝子発現の検討

○北村 嘉章<sup>1</sup>, 黒田 若奈<sup>1</sup>, 水口 博之<sup>2</sup>, 福井 裕行<sup>2</sup>, 武田 憲昭<sup>1</sup>

<sup>1</sup>徳島大学医学部耳鼻咽喉科, <sup>2</sup>徳島大学薬学部分子薬物学

59. アレルゲンによる気道上皮細胞からの IL-1 $\beta$  放出のメカニズム

○神前 英明<sup>1,2</sup>, 紀太 博仁<sup>2</sup>, 清水 猛史<sup>1</sup>

<sup>1</sup>滋賀医科大学医学部耳鼻咽喉科, <sup>2</sup>メイヨークリニック

60. ヒスタミンによる鼻粘膜由来線維芽細胞からの TSLP 産生増強

○山田武千代, 窪 誠太, 山本 英之, 坂下 雅文, 扇 和弘, 意元 義政, 伊藤 有未  
鈴木 弟, 藤枝 重治

福井大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科

61. 鼻粘膜血管における PGE<sub>2</sub> 受容体サブタイプとその拮抗薬の反応

○菊池 恒<sup>1</sup>, 今吉正一郎<sup>1</sup>, 山内 智彦<sup>2</sup>, 瀬嶋 尊之<sup>1</sup>, 市村 恵一<sup>1</sup>

<sup>1</sup>自治医科大学医学部耳鼻咽喉科, <sup>2</sup>福島県立南会津病院耳鼻咽喉科

第5会場

第14群 睡眠障害 (演題: 62~66)

8:30~9:20

座長: 岡本 牧人 (北里大)

62. 鼻腔整形術の睡眠時呼吸障害に対する効果の検討

○久松 建一<sup>1</sup>, 工藤 逸大<sup>2</sup>, 高根 智之<sup>2</sup>, 岸 博行<sup>2</sup>, 平井 良治<sup>2</sup>, 牧山 清<sup>2</sup>

<sup>1</sup>久松耳鼻咽喉科医院, <sup>2</sup>日本大学医学部耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野

63. 慢性副鼻腔炎における睡眠障害についての検討—マクロライド療法の治療効果—

○飯村 慈朗<sup>1</sup>, 千葉伸太郎<sup>1,2</sup>, 渡邊 統星<sup>1</sup>, 山本 耕司<sup>1</sup>, 新井 千昭<sup>1</sup>, 太田 史一<sup>1</sup>

<sup>1</sup>太田総合病院, <sup>2</sup>東京慈恵会医科大学附属病院

64. 睡眠時無呼吸外来におけるアレルギー性鼻炎患者の検討

○徳留 卓俊, 五味 遼 寛, 池田賢一郎, 川口顕一郎, 嶋根 俊和, 金井 憲一, 三邊 武幸

昭和大学藤が丘病院耳鼻咽喉科

65. 睡眠時無呼吸症候群における鼻治療の必要性の検討

○山口 宗太, 大木 幹文, 大久保はるか, 石井 祥子, 櫻井秀一郎, 久保田俊輝, 大越 俊夫

東邦大学医学部耳鼻咽喉科学第2講座

66. 当院における睡眠時無呼吸症候群患者の鼻腔形態改善手術後の周術期管理の工夫

○大岡 久司<sup>1</sup>, 朝子 幹也<sup>1</sup>, 村田 英之<sup>1</sup>, 八木 正夫<sup>2</sup>, 友田 幸一<sup>1</sup>, 児玉 悟<sup>3</sup>, 濱野 宣行<sup>4</sup>  
西 憲一郎<sup>4</sup>, 新宮 興<sup>4</sup>

<sup>1</sup>関西医科大学附属枚方病院耳鼻咽喉科頭頸部外科, <sup>2</sup>医仁会武田総合病院耳鼻咽喉科

<sup>3</sup>大分大学医学部附属病院耳鼻咽喉科, <sup>4</sup>関西医科大学附属枚方病院麻酔科



第5会場

第15群 嗅覚臨床1 (演題: 67~70)

9:20~10:00

座長: 秋定 健 (川崎医大川崎病院)

67. 嗅覚同定能力研究用カードキットオープンエッセンスを用いた臨床研究

○藤尾 久美<sup>1</sup>, 土井 清司<sup>2</sup>, 黒田 浩之<sup>1</sup>, 丹生 健一<sup>2</sup>

<sup>1</sup>神戸医療センター耳鼻咽喉科, <sup>2</sup>神戸大学医学部附属病院耳鼻咽喉・頭頸部外科

68. Open Essence の有用性の検討

○小林 英治, 唐木 將行, 秋山 貢佐, 森 望

香川大学医学部耳鼻咽喉科

69. 嗅覚障害患者における QOL 調査—健康関連 QOL 尺度 (SF36) と VAS を用いた検討

○満山知恵子, 松脇 由典, 森 恵莉, 大櫛 哲史

東京慈恵会医科大学付属病院耳鼻咽喉科

70. 嗅覚障害における QOL 質問票の作成と妥当性の検討

○吉川 裕紀, 神崎 晶, 小川 郁

慶應義塾大学医学部耳鼻咽喉科

第5会場

第16群 嗅覚臨床2 (演題: 71~73)

10:00~10:30

座長: 小川 郁 (慶応大)

71. 当科での静脈性嗅覚検査

○鎌田 英男<sup>1</sup>, 島田 哲明<sup>2</sup>, 桑原 幹夫<sup>3</sup>

<sup>1</sup>群馬大学医療人能力開発センター, <sup>2</sup>群馬大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科学, <sup>3</sup>館林厚生病院

72. 静脈性嗅覚検査で無反応であった嗅覚障害患者の検討

○野村 智幸, 奥村 仁, 石岡孝二郎, 佐藤 裕子, 大野 雅昭, 宮島 宏美, 高橋 姿

新潟大学医学部耳鼻咽喉科

73. 感冒罹患後嗅覚障害による嗅覚脱失症例の検討

○野垣 岳稔, 古田 厚子, 小林 一女, 洲崎 春海

昭和大学医学部耳鼻咽喉科学教室

第5会場

第17群 嗅覚基礎2 (演題: 74~76)

10:30~11:10

座長: 野村 智幸 (新潟大)

74. 香りのストレス緩和機構—ラット動物モデルとヒトでの反応

○柴田 美雅, 寶地 信介, 鈴木 秀明  
産業医科大学医学部耳鼻咽喉科

75. エラスターゼ経鼻投与による嗅粘膜傷害

○金谷 佳織, 近藤 健二, 鈴木 佳吾, 坂本 幸士, 山唄 達也  
東京大学医学部耳鼻咽喉科

76. グルココルチコイド投与に伴う嗅上皮のアポトーシス抑制蛋白の発現についての検討

○高野澤美奈子, 西野 宏, 市村 恵一  
自治医科大学医学部耳鼻咽喉科

第5会場

第18群 真菌症 (演題: 77~82)

11:10~12:00

座長: 鈴木 正志 (大分大), 赤木 博文 (南岡山医療センター)

77. 当科における副鼻腔真菌症手術症例の検討

○石川 竜司  
沼津市立病院耳鼻いんこう科

78. 副鼻腔真菌症例の臨床的検討

○藤 さやか<sup>1</sup>, 南 和彦<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>庄原赤十字病院耳鼻咽喉科, <sup>2</sup>倉敷中央病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科

79. 当科における副鼻腔真菌症の検討

○宋 碩柱, 兵頭 政光  
高知大学医学部耳鼻咽喉科

80. 慢性非侵襲性副鼻腔真菌症に対する内視鏡下鼻内副鼻腔手術症例の検討: 下鼻道対孔作成は必要か?

○澤津橋基広<sup>1,2</sup>, 村上 大輔<sup>1</sup>, 吉川沙耶花<sup>2</sup>, 江島 正義<sup>1</sup>, 小宗 静男<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>九州大学大学院医学研究院耳鼻咽喉科学教室, <sup>2</sup>九州中央病院耳鼻咽喉科

81. 救命しえた多発脳神経障害を伴う侵襲性副鼻腔真菌症の一例

○金井 真理, 近松 一郎, 森山 元大, 初鹿 恭介, 増山 敬祐  
山梨大学医学部附属病院頭頸部・耳鼻咽喉科

82. 多発脳神経障害を伴った副鼻腔真菌症症例

○寺西 正明, 大竹 宏直, 中島 務

名古屋大学大学院医学系研究科頭頸部感覚器外科学耳鼻咽喉科

第6会場

第19群 良性腫瘍 1 (演題: 83~88)

8:30~9:30

座長: 吉原 俊雄 (東京女子医大), 将積 日出夫 (富山大)

83. 鼻出血を契機に発見された鼻腔原発の glomangiopericytoma の1例

○大道亮太郎, 假谷 伸, 岡野 光博, 檜垣 貴哉, 野田 洋平, 石原 久司, 江口 元治  
和田 昂, 西崎 和則

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科耳鼻咽喉・頭頸部外科学

84. 鼻副鼻腔内反型乳頭腫・扁平上皮癌併存例の FDG PET 所見

将積日出夫, ○藤坂実千郎, 石田 正幸, 成瀬 陽, 西田 悠, 館野 宏彦, 高倉 大匡  
安村佐都紀, 渡辺 行雄

富山大学医学部耳鼻咽喉科

85. 蝶形骨洞内反性乳頭腫の2例

○石岡孝二郎<sup>1,2</sup>, 橋本 茂久<sup>1</sup>, 渡辺 順<sup>1</sup>, 高橋 姿<sup>2</sup>

<sup>1</sup>新潟市民病院, <sup>2</sup>新潟大学医学部耳鼻咽喉科

86. 当院における鼻副鼻腔内反性乳頭腫症例の臨床的検討

○南 和彦

倉敷中央病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科

87. 当科における鼻副鼻腔内反性乳頭腫症例の検討

○館 俊廣, 兵 行義, 原田 保

川崎医科大学

88. 当科における鼻副鼻腔乳頭腫症例の検討

○成尾 一彦, 岡本 英之, 西村 忠己, 細井 裕司

奈良県立医科大学耳鼻咽喉・頭頸部外科学教室

第6会場

第20群 外傷 (演題: 89~94)

9:30~10:30

座長: 大越 俊夫 (東邦大第2講座), 井口 郁雄 (広島市民病院)

89. CT・MRIで偶然発見された陳旧性眼窩吹き抜け骨折の25例  
○篠原 宏  
総合新川橋病院耳鼻咽喉科
90. 眼窩滑車部骨折により生じたBrown症候群の治療経験  
○伊藤 吏, 太田 伸男, 鈴木 祐輔  
山形大学医学部耳鼻咽喉・頭頸部外科学講座
91. 頭皮冠状切開を併用した顔面多発外傷例  
○太田 伸男, 伊藤 吏, 鈴木 祐輔, 青柳 優  
山形大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科学
92. 眼窩底骨折整復後に生じた眼窩内嚢胞の一例  
○吉岡 哲志, 堀部 晴司, 櫻井 一生, 内藤 健晴  
藤田保健衛生大学医学部耳鼻咽喉科学
93. 顔面骨骨折手術におけるハイドロキシアパタイト・ポリ-L-乳酸複合材の使用経験  
○高林 宏輔, 長峯 正泰, 藤田 豪紀  
旭川赤十字病院耳鼻咽喉科
94. 眼窩底骨折に対するリボン状シリコンプレートの使用経験—第二報—  
坂田 俊文<sup>1</sup>, ○大庭 哲<sup>1</sup>, 中川 尚志<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>福岡大学筑紫病院耳鼻いんこう科, <sup>2</sup>福岡大学医学部耳鼻咽喉科学教室

第6会場

第21群 腫瘍類似疾患 (演題: 95~100)

10:30~11:30

座長: 武田 憲昭 (徳島大), 花澤 豊行 (千葉大)

95. Wegener肉芽腫症におけるヒストン脱アセチル化酵素の役割  
○高木 大, 中丸 裕爾, 福田 諭  
北海道大学大学院医学研究科耳鼻咽喉科・頭頸部外科学分野
96. Wegener肉芽腫症10例の検討  
○奥村 仁, 野村 智幸, 石岡孝二郎, 佐藤 裕子, 大野 雅昭, 宮島 宏美, 高橋 姿  
新潟大学医学部耳鼻咽喉科

97. 当科における Pott's puffy tumor 5 症例の検討

○秋山 貢佐, 唐木 將行, 森 望  
香川大学医学部耳鼻咽喉科

98. 当科における上顎洞血腫の臨床的検討

○太田 伸男, 伊藤 吏, 鈴木 祐輔, 青柳 優  
山形大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科

99. 鼻副鼻腔に発症した IgG4 関連疾患の 2 症例

○久保木章仁<sup>1,2</sup>, 松脇 由典<sup>1</sup>, 金月 勇<sup>3</sup>, 森山 寛<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>東京慈恵会医科大学耳鼻咽喉科, <sup>2</sup>獨協医科大学耳鼻咽喉・頭頸部外科  
<sup>3</sup>東京慈恵会医科大学リウマチ・膠原病内科

100. 左翼口蓋窩に主座をおき, 上顎洞, 眼窩に進展した炎症性偽腫瘍の一例

○上浦 友宏, 横井 秀格, 松本 祐磨, 甲能 直幸  
杏林大学医学部耳鼻咽喉科

第6会場

第22群 腫瘍基礎 (演題: 101~103)

11:30~12:00

座長: 家根 旦有 (近畿大奈良病院)

101. 上顎癌におけるシスプラチン抵抗性関連遺伝子の発現と P53 変異について

○工藤 逸大, 平井 良治, 岸 博行, 友松 裕貴, 牧山 清, 池田 稔  
日本大学医学部耳鼻咽喉頭頸部外科

102. マウス鼻腔ナチュラルキラー細胞の解析

○岡田 和也  
社会保険中央総合病院耳鼻咽喉科

103. 鼻性 NK/T 細胞リンパ腫における microRNA の発現

○駒林 優樹, 岸部 幹, 長門 利純, 高原 幹, 原渕 保明  
旭川医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科

第1会場

第23群 アレルギー臨床2 (演題: 104~107)

13:20~14:00

座長: 宇佐神 篤 (東海花粉症研究所)

104. スギ花粉症の症状の悪化の因子と、症状悪化の予防として初期治療の有効性に関する検討

○鈴木 裕史, 塩崎 由梨, 津田菜穂子, 荻野 敏

大阪大学医学部医学系研究科保健学専攻

105. 当科におけるスギ花粉症に対する急速減感作療法について

○東野 正明, 寺田 哲也, 柚木 歩, 奥 雄介, 河田 了

大阪医科大学耳鼻咽喉科

106. 小児スギ花粉症の舌下免疫療法~大量飛散年の検討~

○湯田 厚司<sup>1,2</sup>, 荻原 仁美<sup>2</sup>, 宮本由起子<sup>1</sup>, 竹内 万彦<sup>2</sup>, 増田佐和子<sup>3</sup>

<sup>1</sup>ゆたクリニック, <sup>2</sup>三重大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉・頭頸部外科, <sup>3</sup>三重病院耳鼻咽喉科

107. スギ花粉症に対する経口免疫寛容剤 (Cryj1-ガラクトマンナン複合体) を用いた減感作治療の検討

○村上 大輔<sup>1</sup>, 澤津橋基広<sup>2</sup>, 吉川沙耶花<sup>2</sup>, 江島 正義<sup>1</sup>, 齊藤 章<sup>3</sup>, 加藤 昭夫<sup>4</sup>, 小宗 静男<sup>1</sup>

<sup>1</sup>九州大学大学院医学研究院耳鼻咽喉科, <sup>2</sup>九州中央病院耳鼻咽喉科

<sup>3</sup>和興フィルタテクノロジー株式会社, <sup>4</sup>山口大学農学部プロテック株式会社

第1会場

第24群 上顎洞 (演題: 108~110)

14:00~14:30

座長: 鈴木 秀明 (産業医大)

108. 上顎洞鼻石の1症例

○後藤 隆史, 土屋 克之, 外山 勝浩, 東野 哲也

宮崎大学医学部耳鼻咽喉・頭頸部外科

109. 埋伏歯4例の治療経験

○池田 浩己, 三好 拓志, 鈴木 千晶, 樋渡 直, 竹林 慎治, 三浦 誠

日本赤十字社和歌山医療センター耳鼻咽喉科

110. サイノジェクトによる上顎洞洗浄の工夫

○谷 亜希子, 鈴木 輝久, 多田 靖宏, 小野 美穂, 野本 美香, 大森 孝一

福島県立医科大学医学部耳鼻咽喉科学講座

第2会場

第25群 良性腫瘍2 (演題: 111~117)

13:20~14:30

座長: 喜多村 健 (東京医科歯科大), 飯田 政弘 (東海大)

111. 当科における鼻副鼻腔内反性乳頭腫60症例に対する術式と成績

○朝子 幹也<sup>1</sup>, 村田 英之<sup>1</sup>, 馬場 一泰<sup>1</sup>, 河本 光平<sup>2</sup>, 濱田 聡子<sup>1</sup>, 大岡 久司<sup>1</sup>, 友田 幸一<sup>1</sup>

<sup>1</sup>関西医科大学耳鼻咽喉科, <sup>2</sup>関西医科大学附属香里病院耳鼻咽喉科

112. 当科における副鼻腔乳頭腫の病期分類と術式選択, 及び治療成績について (第2報)

○鈴木 康弘, 戸叶 尚史, 岩崎 朱見, 稲葉雄一郎, 喜多村 健

東京医科歯科大学耳鼻咽喉科

113. 鼻副鼻腔乳頭腫手術症例の検討

○関根 基樹, 斎藤 弘亮, 厚見 拓, 竹尾 輝久, 飯田 政弘

東海大学耳鼻咽喉科

114. Modified Lothrop Procedure により内視鏡的に切除した前頭洞内に茎を持つ内反性乳頭腫症例

○中丸 裕爾, 高木 大, 鈴木 正宣, 福田 諭

北海道大学大学院耳鼻咽喉科・頭頸部外科学分野

115. 上顎洞乳頭腫に対する Endoscopic modified medial maxillectomy

○中山 次久, 鴻 信義, 浅香 大也, 大櫛 哲史, 松脇 由典, 吉川 衛, 森山 寛

東京慈恵会医科大学耳鼻咽喉科教室

116. 鼻副鼻腔神経鞘腫の2例

○長谷川雅世, 松澤 真吾, 金沢 弘美, 吉田 尚弘, 飯野ゆき子

自治医科大学附属さいたま医療センター耳鼻咽喉科

117. 内視鏡下鼻副鼻腔手術を施行した巨大な三叉神経鞘腫の一例

○横井 秀格<sup>1,3</sup>, 児玉 悟<sup>2</sup>, 甲能 直幸<sup>1</sup>

<sup>1</sup>杏林大学医学部耳鼻咽喉・頭頸部外科, <sup>2</sup>大分大学医学部耳鼻咽喉科

<sup>3</sup>順天堂大学医学部附属浦安病院耳鼻咽喉科

第3会場

第26群 DCR (演題: 118~120)

13:20~13:50

座長: 吉川 衛 (慈恵医大)

118. 当科における涙嚢鼻腔吻合術について

○堀 亨, 清川 裕道, 山内 大輔

大崎市民病院

119. 内視鏡下鼻内涙嚢鼻腔吻合術における粘膜弁の工夫

○長谷川昌宏, 山下 懐, 真栄田裕行, 鈴木 幹男  
琉球大学耳鼻咽喉・頭頸部外科

120. 涙嚢嚢胞に対し内視鏡下鼻内涙嚢鼻腔吻合術を施行した成人の2例

○齊藤 達矢, 村田 潤子, 池田 勝久  
順天堂大学医学部附属順天堂医院耳鼻咽喉・頭頸科

第3会場

第27群 眼窩 (演題: 121~124)

13:50~14:30

座長: 比野平恭之 (昭和大)

121. 眼窩感染の手術

○湯本 英二, 讃岐 徹治, 増田 聖子, 西本 康兵, 東家 完  
熊本大学耳鼻咽喉科頭頸部外科

122. 小児の鼻性眼窩骨膜下膿瘍・硬膜外膿瘍症例

○吉田 尚弘, 松澤 真吾, 長谷川雅世, 金沢 弘美, 飯野ゆき子  
自治医科大学附属さいたま医療センター耳鼻咽喉科

123. 甲状腺眼症に対して鼻内内視鏡下眼窩減圧術を施行した1例

○野村研一郎, 片山 昭公, 長門 利純, 岸部 幹, 林 達哉, 原渕 保明  
旭川医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科

124. 眼窩内側壁に生じた white-eyed blow out fracture の1例

○青石 邦秀, 岡田 昌浩, 高橋 宏尚, 暁 清文  
愛媛大学医学部耳鼻咽喉科

第4会場

第28群 副鼻腔炎臨床 (演題: 125~131)

13:10~14:20

座長: 三邊 武幸 (昭和大), 西池 季隆 (大阪大)

125. 術前末梢血中好酸球増多と ESS 術後予後

○出島 健司  
京都第二赤十字病院耳鼻咽喉科



126. 喘息合併副鼻腔炎の血中好酸球, 好塩基球について

—感染性副鼻腔炎との比較と薬物治療による変化—

○田中友佳子<sup>1</sup>, 野中 学<sup>1</sup>, 吉原 俊雄<sup>1</sup>, 草間 薫<sup>2</sup>, 酒主 敦子<sup>2</sup>, Pawankar Ruby<sup>2</sup>

<sup>1</sup>東京女子医科大学耳鼻咽喉科, <sup>2</sup>日本医科大学

127. 当科において手術を行った副鼻腔疾患症例における末梢血好酸球数および組織中好酸球浸潤の検討

○識名 崇, 西池 季隆, 太田 有美, 宇野 敦彦, 猪原 秀典

大阪大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科

128. アレルギー性鼻炎を合併する慢性副鼻腔炎の特徴と鑑別

○山下ゆき子<sup>1</sup>, 石戸谷淳一<sup>1</sup>, 佐久間康徳<sup>1</sup>, 塩野 理<sup>1</sup>, 平間真理子<sup>1</sup>, 佃 守<sup>2</sup>

<sup>1</sup>横浜市立大学附属市民総合医療センター耳鼻咽喉科, <sup>2</sup>横浜市立大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科

129. 鼻茸を伴う慢性鼻副鼻腔炎の分類と臨床像の検討

○塩沢 晃人, 池田 勝久

順天堂大学医学部耳鼻咽喉頭頸科

130. アスピリン不耐症喘息と慢性副鼻腔炎における鼻茸の相違

○鈴木 弟<sup>1</sup>, 田中 幸枝<sup>2</sup>, 月舘 利治<sup>3</sup>, 能美 希<sup>4</sup>, 児玉 悟<sup>4</sup>, 鈴木 正志<sup>4</sup>, 山田武千代<sup>1</sup>  
春名 眞一<sup>3</sup>, 藤枝 重治<sup>1</sup>

<sup>1</sup>福井大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科, <sup>2</sup>福井大学医学部分子生命化学

<sup>3</sup>獨協医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科, <sup>4</sup>大分大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科

131. 片側性副鼻腔炎手術症例の臨床検討

○児島 雄介<sup>1</sup>, 都築 建三<sup>1</sup>, 岡 秀樹<sup>1</sup>, 竹林 宏記<sup>2</sup>, 阪上 雅史<sup>1</sup>

<sup>1</sup>兵庫医科大学耳鼻咽喉科, <sup>2</sup>大阪厚生年金病院耳鼻咽喉科

第5会場

第29群 合併症 (演題: 132~139)

13:10~14:30

座長: 土師 知行 (倉敷中央), 大森 孝一 (福島県立医大)

132. 脳膿瘍を併発したオスラー病の1例

○岡田 昌浩, 高橋 宏尚, 暁 清文

愛媛大学医学部耳鼻咽喉科

133. 内視鏡下鼻内手術後に病態が判明した線毛運動不全症候群の2例について

○平位 知久, 福島 典之, 中下 陽介

県立広島病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科

134. 上眼瞼瘻孔を形成した慢性前頭洞炎の1例

○安田 誠<sup>1</sup>, 萌拔 陽子<sup>1</sup>, 椋代 茂之<sup>1</sup>, 久 育男<sup>1</sup>, 五影 志津<sup>2</sup>, 西野 健一<sup>2</sup>

<sup>1</sup>京都府立医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室, <sup>2</sup>京都府立医科大学外科学教室形成外科学部門

135. 好酸球性副鼻腔炎術後に発症した Churg-Strauss 症候群による多発単神経炎の1例

○森山 元大<sup>1</sup>, 上條 篤<sup>2</sup>, 松岡 伴和<sup>1</sup>, 初鹿 恭介<sup>1</sup>, 岡本 崇<sup>3</sup>, 増山 敬祐<sup>1</sup>

<sup>1</sup>山梨大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科, <sup>2</sup>埼玉医科大学耳鼻咽喉科, <sup>3</sup>山梨大学皮膚科

136. Onodi 蜂巣における粘液嚢胞により視神経炎に動眼神経不全麻痺を合併した1症例

○石川 正昭, 石島 健

福井赤十字病院耳鼻咽喉科

137. 鼻性視神経症の予後と Onodi 蜂巣

○富永 健裕<sup>1</sup>, 荒木 康智<sup>1,2</sup>, 國弘 幸伸<sup>2</sup>, 小川 郁<sup>2</sup>

<sup>1</sup>川崎市立川崎病院耳鼻咽喉科, <sup>2</sup>慶應義塾大学医学部耳鼻咽喉科

138. 視力障害および眼球運動障害で発症した術後性上顎のう胞例

○太田 伸男, 鈴木 祐輔, 伊藤 吏, 青柳 優

山形大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科

139. 頭蓋底, 眼窩内側壁に骨欠損をきたした副鼻腔嚢胞3症例の手術治療

○山本 賢史, 安田真美子, 枝松 秀雄

東邦大学医療センター大森病院第一耳鼻咽喉科

第6会場

第30群 嗅覚基礎3 (演題: 140~142)

13:10~13:40

座長: 高橋 宏尚 (愛媛大)

140. 嗅覚障害モデルマウスに対する drug delivery system を用いた bFGF 局所投与の効果

○能田 淳平, 高橋 宏尚, 白馬 伸洋, 羽藤 直人, 暁 清文

愛媛大学医学部頭頸部・感覚器外科

141. エストロゲン受容体  $\beta$  欠損マウスに見られる鼻腔病理所見

○近藤 健二, 鈴木 佳吾, 金谷 佳織, 坂本 幸士, 馬場信太郎, 山唄 達也

東京大学医学部耳鼻咽喉科

142. 抗 IL-6 受容体抗体による外傷性嗅覚障害マウスの嗅神経再生

○小林 正佳, 玉利 健悟, 宮村 朋孝, 竹内 万彦

三重大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉・頭頸部外科

第6会場

第31群 アレルギー疫学 (演題: 143~147)

13:40~14:30

座長: 寺田 哲也 (大阪医大)

143. 小児におけるアレルギー抗原感作率の検討

○兵 行義<sup>1</sup>, 原田 保<sup>1</sup>, 館 俊廣<sup>1</sup>, 増田 勝巳<sup>2</sup>

<sup>1</sup>川崎医科大学耳鼻咽喉科, <sup>2</sup>赤穂中央病院

144. スギ花粉症発症に関わる年齢性別, 通年性アレルゲン抗原感作の影響 —2010年岩木健康増進プロジェクトより—

○高畑 淳子, 松原 篤, 西澤 尚徳, 新川 秀一

弘前大学医学部耳鼻咽喉科

145. 体脂肪率とアレルギーに関する検討

○松原 篤, 高畑 淳子, 西沢 尚徳, 新川 秀一

弘前大学大学院医学研究科耳鼻咽喉科

146. 大阪府におけるアレルギー疾患を有する児童生徒に対する実態調査 (アレルギー性鼻炎)

○津田菜穂子, 塩崎 由梨, 鈴木 裕史, 荻野 敏

大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻

147. アレルギー性鼻炎の主訴

○宇佐神 篤<sup>1,2,3</sup>

<sup>1</sup>東海花粉症研究所, <sup>2</sup>うさみクリニック, <sup>3</sup>NPO 花粉情報協会

第4会場

第32群 悪性腫瘍2 (演題: 148~155)

17:20~18:40

座長: 岸本 誠司 (東京医科歯科大), 牧山 清 (日本大)

148. 放射線併用超選択的動注化学療法が奏功した鼻腔粘膜悪性黒色腫の1例

将積日出夫, ○館野 宏彦, 高倉 大匡, 藤坂実千郎, 渡辺 行雄

富山大学医学部耳鼻咽喉科

149. 鼻腔原発未分化癌の1例

○山田 奏子<sup>1</sup>, 野村 裕子<sup>1</sup>, 下出 祐造<sup>1</sup>, 辻 裕之<sup>1</sup>, 三輪 高喜<sup>1</sup>, 湊 宏<sup>2</sup>

<sup>1</sup>金沢医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科, <sup>2</sup>金沢医科大学臨床病理学

150. 鼻中隔原発扁平上皮癌の皮膚浸潤例

○福田 宏治<sup>1</sup>, 阿部 俊彦<sup>1</sup>, 大塚 尚志<sup>1</sup>, 館田 勝<sup>2</sup>, 志賀 清人<sup>1</sup>, 佐藤 宏昭<sup>1</sup>

<sup>1</sup>岩手医科大学医学部耳鼻咽喉科, <sup>2</sup>仙台医療センター

151. 鼻中隔原発の軟骨肉腫の1例

○青井 二郎, 兵頭 政光  
高知大学医学部耳鼻咽喉科

152. 篩骨洞カルチノイドの1例

○西堀 丈純<sup>1</sup>, 林 寿光<sup>1</sup>, 山田 南星<sup>1</sup>, 青木 光広<sup>1</sup>, 水田 啓介<sup>1</sup>, 伊藤 八次<sup>1</sup>, 横山 壽一<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>岐阜大学医学部耳鼻咽喉科, <sup>2</sup>中濃厚生病院耳鼻咽喉科

153. 内眼角部ポーエン病から副鼻腔癌へ進展した1例

○宮武 智実, 假谷 伸, 岡野 光博, 平井 悠, 小野田友男, 牧野 琢丸, 西崎 和則  
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科耳鼻咽喉・頭頸部外科学

154. 上顎洞原発小細胞癌の1例

○三浦 直一, 井口 郁雄, 綾田 展明, 江草憲太郎, 皆木 正人, 福増 一朗  
広島市立広島市民病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科

155. 内視鏡支援下前頭蓋底手術で完全摘出し得た嗅神経芽細胞腫の1例

○高橋 剛史<sup>1</sup>, 野村 智幸<sup>1</sup>, 奥村 仁<sup>1</sup>, 大野 雅昭<sup>1</sup>, 富田 雅彦<sup>1</sup>, 高橋 姿<sup>1</sup>, 神宮字伸哉<sup>2</sup>  
齊藤 明彦<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>新潟大学医学部耳鼻咽喉科, <sup>2</sup>新潟大学医学部脳神経外科

[平成23年12月3日(土)]

第2会場

第33群 血管系腫瘍 (演題: 156~158)

8:50~9:20

座長: 森 望 (香川大)

156. 当科における若年性血管線維腫5症例の検討

○完山 理咲<sup>1</sup>, 朝子 幹也<sup>1</sup>, 金子 敏彦<sup>2,5</sup>, 大岡 久司<sup>1</sup>, 馬場 一泰<sup>1</sup>, 村田 英之<sup>1</sup>  
河本 光平<sup>3</sup>, 濱田 聡子<sup>4</sup>, 永田 基樹<sup>4</sup>, 友田 幸一<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>関西医科大学附属枚方病院, <sup>2</sup>関西医科大学附属滝井病院, <sup>3</sup>関西医科大学附属香里病院  
<sup>4</sup>星ヶ丘厚生年金病院, <sup>5</sup>みらい耳鼻咽喉科

157. Midfacial degloving approach, 超音波メスにより切除した副鼻腔血管腫症例

○鈴木 元彦, 中村 善久, 横田 誠, 村上 信五  
名古屋市立大学大学院医学研究科

158. 鼻腔内に発生した海綿状骨血管腫の1症例

○寒川 泰<sup>1</sup>, 秋山 貢佐<sup>2</sup>, 唐木 将行<sup>2</sup>, 森 望<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>三豊総合病院初期臨床研修, <sup>2</sup>香川大学医学部耳鼻咽喉科

第2会場

第34群 嚢胞 (演題: 159~162)

9:20~10:00

座長: 鈴木 幹男 (琉球大)

159. 術後性上顎嚢胞に対する Endoscopic modified medial maxillectomy

○大櫛 哲史, 鴻 信義, 中山 次久, 浅香 大也, 松脇 由典, 吉川 衛, 森山 寛  
東京慈恵会医科大学耳鼻咽喉科教室

160. 上顎洞に伸展した歯根嚢胞に対する内視鏡下副鼻腔手術

○立山 香織, 児玉 悟, 能美 希, 鈴木 正志  
大分大学医学部耳鼻咽喉科頭頸部外科

161. 診断と治療に難渋した嚢胞を伴う fibrous dysplasia の1例

○小島 雅貴, 村田 潤子, 齊藤 達矢, 本間 博友, 池田 勝久  
順天堂大学医学部耳鼻咽喉科学講座

162. 内視鏡下鼻内手術を行った鼻口蓋管嚢胞の1例

○高橋 郷, 比野平恭之, 洲崎 春海  
昭和大学耳鼻咽喉科学教室

第3会場

第35群 ESS (演題: 163~168)

8:50~9:50

座長: 湯本 英二 (熊本大), 池田 浩己 (日赤和歌山)

163. 鼻内内視鏡手術後のガーゼタンポンの必要性: サージセンターでの経験

○廣芝 新也, 田村 芳寛  
ひろしば耳鼻咽喉科・京都みみはな手術センター

164. アルギン酸カルシウムを用いた中鼻道パッキングの

内視鏡下鼻内手術後創傷治癒に与える影響について

○大村 和弘, 大櫛 哲史, 中山 次久, 浅香 大也, 松脇 由典, 吉川 衛, 鴻 信義  
森山 寛  
東京慈恵会医科大学耳鼻咽喉科学教室

165. 当院における鼻・副鼻腔手術症例の検討

○竹林 宏記, 川島 貴之, 北村 貴裕, 前田 英美, 仙波 治  
大阪厚生年金病院耳鼻咽喉科

166. 副鼻腔炎のESS術後の鼻内所見の検討

○都築 建三<sup>1</sup>, 岡 秀樹<sup>1</sup>, 児島 雄介<sup>1</sup>, 竹林 宏記<sup>2</sup>, 阪上 雅史<sup>1</sup>

<sup>1</sup>兵庫医科大学医学部耳鼻咽喉科, <sup>2</sup>大阪厚生年金病院耳鼻咽喉科

167. 慢性副鼻腔炎に対する内視鏡下鼻内副鼻腔手術の術後評価

○比野平恭之, 庄司 育央, 野垣 岳稔, 渡邊 莊, 洲崎 春海

昭和大学医学部耳鼻咽喉科学教室

168. ESS後に上顎洞粘膜から膿汁の分泌が継続する症例に対する再手術の検討

○山田 裕子, 森 恵莉, 内水 浩貴, 柳 清

聖路加国際病院耳鼻咽喉科

第3会場

第36群 前頭洞 (演題: 169~172)

9:50~10:30

座長: 原 晃 (筑波大)

169. 眼窩内進展した外傷性前頭洞嚢胞の1例

○多田 靖宏, 野本 美香, 鈴木 俊彦, 小野 美穂, 谷 亜希子, 鈴木 輝久, 大森 孝一

福島県立医科大学医学部耳鼻咽喉科

170. 前頭洞嚢胞再手術例に対する前頭洞単洞化手術 (Modified Lothrop Procedure)

○春名 眞一<sup>1</sup>, 月舘 利治<sup>1</sup>, 吉村 剛<sup>2</sup>

<sup>1</sup>獨協医科大学医学部耳鼻咽喉・頭頸部外科, <sup>2</sup>獨協医大越谷病院耳鼻咽喉科

171. 当科における前頭洞嚢胞に対する鼻内アプローチ

○山本 陽平, 御厨 剛史, 橋本 誠, 山下 裕司

山口大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科学分野

172. 外切開を要した前頭洞病変3症例の検討

○柏木 隆志, 月舘 利治, 山川 秀致, 平林 秀樹, 春名 眞一

獨協医科大学病院耳鼻咽喉・頭頸部外科

第3会場

第37群 アレルギー性真菌性鼻副鼻腔炎 (AFRS) (演題: 173~177) 10:30~11:20

座長: 柳 清 (聖路加国際病院)

173. Alternariaによるアレルギー性真菌性副鼻腔炎 (allergic fungal rhinosinusitis: AFRS) の2症例

○正垣 直樹, 村本 大輔, 土井 勝美

近畿大学医学部附属病院耳鼻咽喉科

174. 前頭蓋底・眼窩側への著明な進展を示したアレルギー性真菌性副鼻腔炎症例

○花牟礼 豊, 高木 実, 中島 崇博, 林 多聞  
鹿児島市立病院耳鼻咽喉科

175. 外転神経麻痺を呈したアレルギー性真菌性鼻副鼻腔炎の1例

○滝脇 正人, 久世 文也, 若岡 敬紀, 林 寿光, 西堀 丈純, 青木 光広, 水田 啓介  
伊藤 八次  
岐阜大学医学部耳鼻咽喉科

176. 治療に難渋したアレルギー性真菌性副鼻腔炎の1例

○中座 資実, 岡本 牧人, 鈴木 立俊, 林 政一, 加納 孝一  
北里大学医学部耳鼻咽喉科

177. 汎副鼻腔におよぶアレルギー性真菌性鼻副鼻腔炎の1例

○元山 智恵, 和田 弘太, 茂木 雅臣, 石井 正則  
東京厚生年金病院

第4会場

第38群 良性腫瘍3 (演題: 178~185)

9:00~10:20

座長: 山下 裕司 (山口大), 河田 了 (大阪医大)

178. 当科における鼻・副鼻腔内反性乳頭腫症例の検討

○清水 保彦, 淵脇 貴史, 梅原 毅, 青井 典明, 清水香奈子, 森倉 一郎, 川内 秀之  
島根大学医学部耳鼻咽喉科

179. 鼻咽腔に発生した TSH 産生異所性下垂体腺腫

○西池 季隆<sup>1</sup>, 巽 圭太<sup>2</sup>, 馬谷 昌範<sup>3</sup>, 識名 崇<sup>1</sup>, 太田 有美<sup>1</sup>, 宇野 敦彦<sup>1</sup>, 猪原 秀典<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>大阪大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科・頭頸部外科学  
<sup>2</sup>大阪大学大学院医学系研究科臨床検査診断学, <sup>3</sup>大手前病院耳鼻咽喉科

180. 内視鏡下に鼻内に開窓した角化嚢胞性歯原性腫瘍の1例

○前田 一彦, 鈴木 正志  
大分大学医学部耳鼻咽喉科

181. 鼻腔に発生した ossifying fibroma の1例

○吉田沙絵子, 駒林 優樹, 野村研一郎, 國部 勇, 林 達哉, 原渕 保明  
旭川医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科

182. 鼻前庭に発生した血管筋脂肪腫の1例

○中村 陽祐, 松田 英賢, 武田真紀子, 伊藤 和行  
松江赤十字病院耳鼻咽喉・頭頸部外科

183. 鼻腔内から観察し得なかった若年性血管線維腫の1例

○和田 匡史, 岡本 幸美, 松下 直樹, 山根 英雄  
大阪市立大学大学院医学研究科耳鼻咽喉科病態学

184. 腫瘍性骨軟化症を呈した hemangiopericytoma の1例

○鈴木奈見子<sup>1</sup>, 堀部 晴司<sup>1</sup>, 犬塚恵美子<sup>1</sup>, 村嶋 智明<sup>1</sup>, 木原 彩子<sup>1</sup>, 櫻井 一生<sup>1</sup>, 内藤 健晴<sup>1</sup>  
鈴木 敦詞<sup>2</sup>, 吉田耕一郎<sup>3</sup>

<sup>1</sup>藤田保健衛生大学医学部耳鼻咽喉科, <sup>2</sup>藤田保健衛生大学医学部内分泌代謝内科

<sup>3</sup>藤田保健衛生大学医学部脳神経外科

185. 鼻腔に発生した sinonasal hemangiopericytoma-like tumor の1例

○池寄 祥司, 寶地 信介, 柴田 美雅, 大久保淳一, 竹内 頌子, 高橋 理沙, 鈴木 秀明  
産業医科大学医学部耳鼻咽喉科

第4会場

第39群 アレルギー臨床3 (演題: 186~191)

10:20~11:20

座長: 榎本 雅夫 (NPO 日本健康増進支援機構), 本田 耕平 (秋田大)

186. 薬剤自己選択式問診表による花粉症患者の満足度調査

○河本 光平<sup>1</sup>, 坂口麻理子<sup>1</sup>, 宮本 真<sup>2</sup>, 高田 洋平<sup>2</sup>, 完山 理咲<sup>2</sup>, 尹 泰貴<sup>2</sup>, 朝子 幹也<sup>2</sup>  
友田 幸一<sup>2</sup>

<sup>1</sup>関西医科大学香里病院耳鼻咽喉科, <sup>2</sup>関西医科大学枚方病院耳鼻咽喉科

187. OHIO Chamber におけるスギ・ヒノキ科花粉連続曝露に対するベポタスチンベシル酸塩の効果

○神崎 晶<sup>1</sup>, 橋口 一弘<sup>2</sup>, 若林健一郎<sup>3</sup>, 藤岡 正人<sup>4</sup>, 末松 潔親<sup>5</sup>, 大久保公裕<sup>6</sup>

<sup>1</sup>慶応義塾大学医学部耳鼻咽喉科, <sup>2</sup>ふたばクリニック, <sup>3</sup>北里研究所病院耳鼻咽喉科

<sup>4</sup>けいゆう病院耳鼻咽喉科, <sup>5</sup>左門町クリニック, <sup>6</sup>日本医科大学耳鼻咽喉科

188. スギ花粉症におけるベポタスチンベシル酸塩とフェキソフェナジン塩酸塩の臨床効果の検討

○服部 玲子, 伊藤由紀子

独立行政法人国立病院機構三重中央医療センター

189. スギ大量飛散シーズンにおけるステロイド点鼻薬の効果

○鈴木 立俊, 林 政一, 牧野 寛之, 渡辺 裕之, 中座 資実, 岡本 牧人

北里大学医学部耳鼻咽喉科



190. 2011スギ花粉症患者に対するアラミスト® とアレグラ® による  
初期療法に関するランダム化並行群間比較試験

○濱田 聡子<sup>1,2</sup>, 朝子 幹也<sup>2</sup>, 河本 光平<sup>2,3</sup>, 大岡 久司<sup>2</sup>, 友田 幸一<sup>2</sup>

<sup>1</sup>星ヶ丘厚生年金病院耳鼻咽喉科, <sup>2</sup>関西医科大学医学部耳鼻咽喉科

<sup>3</sup>関西医科大学附属香里病院耳鼻咽喉科

191. スギ・ヒノキ花粉症に対するデキサメタゾンシペシル酸エステルと  
第2世代抗ヒスタミン薬の併用効果

○櫻井 弘徳<sup>1</sup>, 清水 猛史<sup>2</sup>

<sup>1</sup>日野記念病院耳鼻咽喉科, <sup>2</sup>滋賀医科大学耳鼻咽喉科

第5会場

第40群 悪性腫瘍3 (演題: 192~197)

9:00~10:00

座長: 福田 諭 (北海道大), 中島 格 (久留米大)

192. 当院における上顎洞扁平上皮癌の検討

○山下 懐, 長谷川昌宏, 鈴木 幹男

琉球大学大学院医学研究科耳鼻咽喉・頭頸部外科学講座

193. 急速動注化学療法による上顎癌治療—CDDP 投与量との関連について—第2報

○兼田美紗子, 星田 茂, 中西 清香, 吉崎 智一

金沢大学医薬保健研究域医学系耳鼻咽喉科・頭頸部外科

194. 低悪性度鼻咽頭乳頭腺癌 (low-grade nasopharyngeal papillary adenocarcinoma) の症例

○横田 誠, 中村 善久, 鈴木 元彦, 村上 信五

名古屋市立大学医学部耳鼻咽喉科教室

195. 重粒子線治療を施行した嗅神経芽細胞腫の1例

○大久保淳一, 寶地 信介, 柴田 美雅, 池寄 祥司, 鈴木 秀明

産業医科大学医学部耳鼻咽喉科

196. 頭蓋底悪性腫瘍の3症例

○太田 伸男, 伊藤 吏, 鈴木 祐輔, 青柳 優

山形大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科学

197. 鼻副鼻腔がん・上咽頭がんの頭蓋底浸潤における緩和ケアの取り組み

○大嶋健三郎, 比野平恭之, 工藤 睦男, 門倉 義幸, 洲崎 春海

昭和大学医学部耳鼻咽喉科学教室

第5会場

第41群 悪性腫瘍4 (演題: 198~201)

10:00~10:40

座長: 林 達哉 (旭川医大)

198. 鼻副鼻腔悪性リンパ腫の5例

○福島 慶, 森實 理恵, 竹内 裕美, 北野 博也  
鳥取大学医学部感覚運動医学講座耳鼻咽喉頭頸部外科学分野

199. 当科における鼻副鼻腔原発悪性リンパ腫の臨床的検討

○庄司 育央, 比野平恭之, 洲崎 春海  
昭和大学医学部耳鼻咽喉科学教室

200. XLP に合併した鼻副鼻腔原発 EBV 関連リンパ増殖性疾患の1例

○岩永 健, 南 和彦  
倉敷中央病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科

201. 上顎洞に発生したNK細胞性白血病の1例

○寶地 信介, 池崎 祥司, 大久保淳一, 橋田 光一, 柴田 美雅, 鈴木 秀明  
産業医科大学医学部耳鼻咽喉科

第5会場

第42群 嗅覚臨床3 (演題: 202~205)

10:40~11:20

座長: 近藤 健二 (東京大)

202. 神経性嗅覚障害治療における亜鉛製剤の効果

○小河 孝夫, 戸嶋 一郎, 柴山 将之, 清水 猛史  
滋賀医科大学耳鼻咽喉科

203. 外傷性嗅覚障害に対して加味帰脾湯が有用であった2症例

○前原 一方, 野々山 宏, 有元真理子, 稲川俊太郎, 植田 広海  
愛知医科大学耳鼻咽喉科

204. 慢性副鼻腔炎における嗅覚障害と上鼻甲介嗅上皮障害との関連

○志賀 英明<sup>1</sup>, 山本 純平<sup>1</sup>, 山田 奏子<sup>1</sup>, 古川 亅<sup>2</sup>, 三輪 高喜<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>金沢医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科学, <sup>2</sup>金沢大学

205. 慢性鼻副鼻腔炎における嗅覚障害—嗅覚障害罹病期間とその予後について—

○松脇 由典, 満山智恵子, 森 恵莉, 山崎ももこ, 大櫛 哲史, 森山 寛  
東京慈恵会医科大学耳鼻咽喉科

第6会場

第43群 一酸化窒素 (NO) (演題: 206~209)

8:50~9:30

座長: 假谷 伸 (岡山大)

206. アレルギー性鼻炎における簡易型測定機器による

鼻腔由来の一酸化窒素 (NO) 濃度のモニタリングについて

○野田 礼彰, 平川 勝洋, 竹野 幸夫, 石野 岳志, 福入 隆史  
広島大学大学院医歯薬学総合研究科耳鼻咽喉科頭頸部外科

207. 慢性副鼻腔炎症例における呼気中一酸化窒素濃度の検討

○假谷 伸, 岡野 光博, 檜垣 貴哉, 春名 威範, 伊賀奈緒子, 堀 太雄, 和田 昂  
大道亮太郎, 西崎 和則

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科耳鼻咽喉・頭頸部外科学

208. 上気道炎症性疾患における NO の意義についての検討

○奥 雄介, 寺田 哲也, 乾 崇樹, 柚木 歩, 吉村 勝弘, 東野 正明, 河田 了  
大阪医科大学耳鼻咽喉科

209. 鼻副鼻腔疾患における呼気および鼻呼気 NO の検討

○乾 崇樹, 寺田 哲也, 奥 雄介, 長谷川恵子, 吉村 勝弘, 河田 了  
大阪医科大学耳鼻咽喉科学教室

第6会場

第44群 副鼻腔炎基礎 (演題: 210~216)

9:30~10:40

座長: 山田武千代 (福井大), 鈴木 元彦 (名市大)

210. 鼻茸を伴う慢性鼻副鼻腔炎の感染因子における PCR 解析の検討

○廣津 幹夫, 小野 倫嗣, 塩澤 晃人, 楠 威志, 池田 勝久  
順天堂大学医学部耳鼻咽喉頭頸部外科

211. T-RFLP 法による副鼻腔内細菌群の比較検討

○渡邊 莊, 洲崎 春海  
昭和大学医学部耳鼻咽喉科学教室

212.  $\alpha$  トキシンによる鼻茸細胞からのサイトカイン産生

○春名 威範<sup>1</sup>, 岡野 光博<sup>1</sup>, 假谷 伸<sup>1</sup>, 檜垣 貴哉<sup>1</sup>, 折田 頼尚<sup>1</sup>, 宮武 智実<sup>1</sup>, 牧原靖一郎<sup>2</sup>  
西崎 和則<sup>1</sup>

<sup>1</sup>岡山大学大学院医歯薬学総合研究科耳鼻咽喉・頭頸部外科学, <sup>2</sup>香川労災病院耳鼻咽喉科

213. 鼻茸合併慢性副鼻腔炎における真菌の関与の検討

山本隆三朗, 米倉 修二, 花澤 豊行, ○岡本 美孝  
千葉大学耳鼻咽喉科・頭頸部腫瘍学

214. 好酸球性副鼻腔炎におけるマクロファージと MUC5AC および Cu/Zn-SOD との関連についての検討

○小野 倫嗣, 楠 威志, 池田 勝久  
順天堂大学医学部附属順天堂医院耳鼻咽喉・頭頸科

215. 好酸球性副鼻腔炎の組織中 IL-33 とそのレセプターの発現についての検討

○馬場信太郎<sup>1</sup>, 近藤 健二<sup>1</sup>, 金谷 佳織<sup>1</sup>, 鈴木 佳吾<sup>1</sup>, 牛尾 宗貴<sup>1</sup>, 鈴木 真穂<sup>2</sup>, 大田 健<sup>2</sup>  
山嵜 達也<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>東京大学耳鼻咽喉科, <sup>2</sup>帝京大学内科

216. LPS, poly (I:C) 刺激後の鼻粘膜上皮のサイトカイン分泌に対するレスピラトリーキノロンの効果

○三輪 正人<sup>1</sup>, 塩沢 晃人<sup>1</sup>, 本間 博友<sup>1</sup>, 斎藤 達矢<sup>1</sup>, 呉 松晃<sup>2</sup>, 廣瀬 壮<sup>3</sup>, 宮澤 哲夫<sup>4</sup>  
三輪真由美<sup>5</sup>, 谷本 秀史<sup>6</sup>, 池田 勝久<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>順天堂大学医学部耳鼻咽喉科学講座, <sup>2</sup>幸手耳鼻咽喉科, <sup>3</sup>ファミリア耳鼻咽喉科  
<sup>4</sup>みやざわ耳鼻咽喉科, <sup>5</sup>はりま坂耳鼻咽喉科, <sup>6</sup>谷本耳鼻咽喉科

第6会場

第45群 副鼻腔炎治療 (演題: 217~220)

10:40~11:20

座長: 出島 健司 (京都第二赤十字病院)

217. 慢性副鼻腔炎に対するクラリスロマイシンの投与期間の検討

○中村 善久, 横田 誠, 鈴木 元彦, 村上 信五  
名古屋市立大学医学部耳鼻咽喉科

218. 好酸球性中耳炎を合併する好酸球性副鼻腔炎3例への抗 IgE 抗体投与後の効果について

○金沢 弘美, 長谷川雅世, 吉田 尚弘, 飯野ゆき子  
自治医科大学さいたま医療センター耳鼻咽喉科

219. オマリズマブ投与の好酸球性副鼻腔炎3症例

○太田 康, 山田智佳子, 滝沢 克己, 力武 涼子  
日本赤十字社医療センター耳鼻咽喉科

220. アスピリン喘息合併慢性副鼻腔炎に対してのアスピリン減感作療法による治療の試み

○村田 潤子, 斎藤 達矢, 本間 博友, 小島 雅貴, 小野 倫嗣, 広津 幹夫, 塩沢 晃人  
三輪 正人, 楠 威志, 池田 勝久  
順天堂大学医学部耳鼻咽喉科